

WebSAM Network Automation v4.0

API リファレンス

第 1 版
2017 年 9 月

日本電気株式会社

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複製することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

- UNIVERGE、および、ProgrammableFlow は日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Internet Explorer および SQL Server は 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel は、Intel 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apache、Apache Tomcat、Tomcat は、Apache Software Foundation の登録商標または商標です。
- Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Fortinet、FortiGate、FortiClient および FortiGuard は Fortinet, Inc. の登録商標です。その他このガイド内に記載されているフォーティネット製品はフォーティネットの商標です。
- A10 Networks の AX シリーズ、Thunder シリーズは、A10 Networks, Inc.の登録商標です。
- Catalyst、IOS、Cisco IOS、Cisco、Cisco Systems、および Cisco ロゴは米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc.の商標または登録商標です。
- F5、F5 Networks、F5 のロゴ、および本文中に記載されている製品名は、米国および他の国における F5 Networks, Inc の商標または登録商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、™ マークは本書に明記しておりません。

輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は、外国為替及び外国貿易法で規定される規制貨物（または役務）に該当することがあります。 その場合、日本国外へ輸出する場合には日本国政府の

輸出許可が必要です。なお、輸出許可申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、お買い上げの販売店またはお近くの当社営業拠点にご相談ください。

はじめに

対象読者と目的

本書は、Network Automation の API 利用者を対象読者とし、その方法について説明します。

本書の表記規則

本書では、注意すべき事項、および関連情報を以下のように表記します。

注

機能、操作、設定に関する注意事項、警告事項および補足事項です。

ヒント

追加情報または参照先の情報の場所を表します。

表記一覧

本書では以下の表記方法を使用します。

表記	使用方法	例
[]角かっこ	画面に表示される項目 (テキストボックス チェックボックス タブなど) の前後	[マシン名]テキストボックスに マシン名を入力します [すべて]チェックボックス
『 』かぎかっこ	画面名 (ダイアログボックス ウィンドウなど)、 マニュアル名の前後	『設定』ウィンドウ 『インストールレーションガイド』
コマンドライン中の []角かっこ	かっこ内の値の指定が省略可能であることを示します	add [/a] Gr1
モノスペースフォント (courier new)	コマンドライン システムからの出力 (メッセージ プロンプトなど)	以下のコマンドを実行してください replace Gr1
モノスペースフォント斜体 (courier new) <> 山かっこ	ユーザが有効な値に置き換えて入力する項目 値の中にスペースが含まれる場合は " (二重引用符) で値を囲んでください	add <i>GroupName</i> InstallPath= "Install Path" <インストール DVD>

UNIVERGE PF シリーズの表記について

本書では、UNIVERGE PF シリーズの各製品について、以下の略称を利用しています。

製品名	略称
PF6800 Network Coordinator	UNC
PF6800	PFC

製品名	略称
PF5xxx Switch	PFS

目次

第 1 章 API の仕様.....	1
1.1 HTTP メソッドについて.....	2
1.2 JSON について.....	2
1.2.1 JSON の仕様.....	2
1.2.2 日付・時間の形式.....	2
1.2.3 文字エンコーディング.....	2
1.3 認証方式について.....	2
1.4 リクエスト形式.....	3
1.4.1 HTTP ヘッダ.....	3
1.4.2 POST 時のリクエストデータ.....	3
1.4.3 GET 時のリクエストデータ.....	3
1.4.4 PUT 時のリクエストデータ.....	3
1.4.5 DELETE 時のリクエストデータ.....	3
1.5 レスポンス形式.....	3
1.5.1 共通の HTTP ステータスコード.....	3
1.5.2 エラー形式.....	4
1.6 エンドポイント.....	4
1.7 API 一覧.....	4
1.8 パラメータ諸元.....	5
1.9 シナリオ ID 一覧 API.....	5
1.10 ワークフロー実行 API.....	6
1.11 ワークフロー実行結果取得 API.....	8
1.12 ワークフロー実行キャンセル API.....	9
1.13 テナント情報登録 API.....	10
1.14 テナント情報変更 API.....	10
1.15 テナント情報削除 API.....	11
1.16 DC リソースグループ一覧取得 API.....	12
1.17 DC リソースグループ詳細取得 API.....	14
1.18 グローバル IP 登録名一覧取得 API.....	26
1.19 グローバル IP 取得 API.....	28
1.20 グローバル IP 返却 API.....	29

1.21	テナントに紐づく DC リソース詳細情報取得 API	30
1.22	自動選択試行 API	38
第 2 章	ワークフロー実行 API について	41
2.1	概要	42
2.2	実行方法	42
2.3	企業ネットワーク向けシナリオ	42
2.3.1	コンフィグ取得	43
2.3.2	Real-network 設定	44
2.3.3	vBridge 設定	46
2.3.4	ポート設定	47
2.3.5	vRouter 設定	48
2.3.6	ルーティング設定	50
2.3.7	アクセスリスト設定	51
2.3.8	NAT 設定	54
2.3.9	仮想 FW 設定	56
2.3.10	インタフェース設定	57
2.3.11	FW ポリシー設定	58
2.3.12	仮想 LB 設定	61
2.3.13	仮想 LB ポリシー設定	62
2.3.14	VRF 設定	66
2.3.15	VRRP 設定	67
2.3.16	ゾーン設定	69
2.3.17	FlowFilter 設定	70
2.3.18	FlowList 設定	71
2.3.19	storm 設定	73
2.3.20	LinkAggrigation 設定	75
2.4	データセンター向けシナリオ	76
2.4.1	テナント NW 作成	77
2.4.2	テナント NW 削除	79
2.4.3	テナント FW 作成	79
2.4.4	テナント FW 更新	81
2.4.5	テナント FW 削除	83
2.4.6	テナント LB 作成	83
2.4.7	テナント LB 更新	85
2.4.8	テナント LB 削除	87
2.4.9	SSL-VPN 設定	87
2.4.10	SSL-VPN 解除	89

2.4.11 業務 VLAN 作成.....	90
2.4.12 業務 VLAN 削除.....	90
2.4.13 パブリック VLAN 作成.....	91
2.4.14 パブリック VLAN 削除.....	92
2.4.15 WAN 作成.....	93
2.4.16 WAN 削除.....	94
2.4.17 タグ指定種別.....	94
2.4.18 シナリオの同時実行について.....	95
付録 A. 改版履歴.....	97
付録 B. ライセンス情報.....	98

第 1 章

API の仕様

本章では、API の仕様について説明します。

目次

1.1 HTTP メソッドについて	2
1.2 JSON について	2
1.3 認証方式について	2
1.4 リクエスト形式	3
1.5 レスポンス形式	3
1.6 エンドポイント	4
1.7 API 一覧	4
1.8 パラメータ諸元	5
1.9 シナリオ ID 一覧 API	5
1.10 ワークフロー実行 API	6
1.11 ワークフロー実行結果取得 API	8
1.12 ワークフロー実行キャンセル API	9
1.13 テナント情報登録 API	10
1.14 テナント情報変更 API	10
1.15 テナント情報削除 API	11
1.16 DC リソースグループ一覧取得 API	12
1.17 DC リソースグループ詳細取得 API	14
1.18 グローバル IP 登録名一覧取得 API	26
1.19 グローバル IP 取得 API	28
1.20 グローバル IP 返却 API	29
1.21 テナントに紐づく DC リソース詳細情報取得 API	30
1.22 自動選択試行 API	38

1.1 HTTP メソッドについて

API では、用途に応じて以下の HTTP メソッドを使い分けます。

HTTP メソッド	用途
GET	既存のリソースの表現を取得。
POST	動的に URL が決定される、新規リソースの作成。GET がふさわしい場合でも構造化されたデータを引数に指定する必要がある場合は POST を使用する。
PUT	URL が既知である新規リソースの作成。既存のリソースを編集。
DELETE	既存のリソースを削除。

1.2 JSON について

API では、JSON 形式をサポートします。

1.2.1 JSON の仕様

RFC4627 に準拠します。

1.2.2 日付・時間の形式

- 日付の形式

RFC3339 に準拠します。

例: 2011-01-01T00:00:00.0+09:00

- 時間の形式

[-]d.hh:mm:ss[.ff] 形式で指定します。

※d は日、ff は秒の端数を表す。

1.2.3 文字エンコーディング

文字列のエンコーディングはすべて UTF-8 とします。

1.3 認証方式について

認証方式については、『Network Automation インストラクションガイド』の『2.8.4 サービスガバナーの設定』を参照してください。

1.4 リクエスト形式

1.4.1 HTTP ヘッダ

ワークフロー系 API では以下の HTTP ヘッダを利用します。

HTTP ヘッダ	説明
X-UMF-API-Version	API のバージョン。"3.0.0.201601"を指定してください。
Date	API へのリクエスト日時(RFC 1123 形式)。
Authorization	認証方法および API キー。認証方法は"SharedKeyLite"を指定してください。

例：

```
X-UMF-API-Version: 3.0.0.201601
Date: Fri, 10 Apr 2015 08:12:31 GMT
Authorization: SharedKeyLite <AccessKeyId>:<Signature>
```

1.4.2 POST 時のリクエストデータ

URL および JSON 形式のデータで指定します。

1.4.3 GET 時のリクエストデータ

URL パラメータで指定します。

1.4.4 PUT 時のリクエストデータ

URL および JSON 形式のデータで指定します。

1.4.5 DELETE 時のリクエストデータ

URL および JSON 形式のデータで指定します。

1.5 レスポンス形式

1.5.1 共通の HTTP ステータスコード

API の成功・失敗は、HTTP ステータスコードで通知します。全 API で共通の HTTP ステータスコードは次の通りです。

コード	意味	説明
400	Bad Request	渡されたパラメータが異なるなど、要求が正しくない場合に返却される

コード	意味	説明
401	Unauthorized	適切な認証情報を提供せず、保護されたリソースに対しアクセスをした場合に返却される
404	Not Found	指定されたリソースが見つからない場合に返却される
405	Method Not Allowed	要求したリソースがサポートしていない HTTP メソッドを利用した場合に返却される
500	Internal Server Error	API 実行時に予期しないエラーが発生した場合に返却される

注

上記以外にも各 API で HTTP ステータスコードを定義します。詳細は各 API の仕様を参照してください。

1.5.2 エラー形式

API 実行時に予期しないエラーが発生した場合は "500 Internal Server Error" を返します。エラーに関する情報は JSON で返却します。

```
HTTP/1.1 500 Internal Server Error
Content-Type: application/json; charset=utf-8
{
  "Error": "<エラーメッセージ>",
  "Exception": "<例外のクラス名>",
  "StackTrace": "<例外のスタックトレース>"
}
```

1.6 エンドポイント

以下の URL を API のエンドポイントとして使用します。API バージョンは HTTP ヘッダで指定するため URL には含まれません。

`https://<ホスト名>:<ポート番号>/umf/`

1.7 API 一覧

以下の API を提供します。

表 1-1 REST インターフェース

HTTP メソッド	API 名	URL	同期 / 非同期	説明
GET	シナリオ ID 一覧	/umf/workflow/list	同期	シナリオの一覧を取得する
POST	ワークフロー実行	/umf/workflow/ID/execute	非同期	指定されたワークフローを実行し、ワークフローインスタンスを生成する

HTTP メソッド	API 名	URL	同期 / 非同期	説明
GET	ワークフロー実行結果取得	/umf/workflowinstance/EXECUTIONID	同期	指定されたワークフローインスタンスの進捗状況や実行結果を取り出す。
DELETE	ワークフロー実行キャンセル	/umf/workflowinstance/EXECUTIONID	同期	指定されたワークフローインスタンスを中断する
POST	テナント情報登録	/umf/tenant/TenantID	同期	テナント情報の登録を要求する
PUT	テナント情報変更	/umf/tenant/TenantID	同期	テナント情報の変更を要求する
DELETE	テナント情報削除	/umf/tenant/TenantID	同期	テナント情報の削除を要求する
GET	DC リソースグループ一覧取得	/umf/dcresource/groups	同期	リソースグループの一覧を取得する
GET	DC リソースグループの詳細取得	/umf/dcresource/groups/DCResourceGroupName	同期	リソースグループの詳細取得する
GET	グローバル IP 登録名一覧取得	/umf/globalip/list	同期	払い出し可能なグローバル IP アドレスの登録一覧を取得する
POST	グローバル IP 取得	/umf/globalip/request	同期	グローバル IP の払い出しを行う
POST	グローバル IP 返却	/umf/globalip/release	同期	払い出したグローバル IP の返却を行う
POST	テナントに紐づく DC リソース詳細情報取得	/umf/reserveddcresource/<TenantID>	同期	テナントに払い出されているリソースを参照
POST	自動選択試行	/umf/trial/workflow/ID/execute	同期	リソースの自動選択処理を試行する

1.8 パラメータ諸元

以下の API を提供します。

表 1-2 REST インターフェース

	パラメータ名	形式	最大長
ワークフロー関連	ワークフロー ID	文字	8 桁
	シナリオ実行 ID(要求 ID)	文字	21 桁固定長
	ワークフロー実行時の Key 名	文字	64 文字
	ワークフロー実行時の Value 値	文字	制限なし

1.9 シナリオ ID 一覧 API

シナリオ ID の一覧を返却します。

- HTTP メソッド

GET

- URL

/umf/workflow/list

- パラメータ
なし
- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功

- レスポンス (JSON)

キー	型	説明
Workflows[n].Id	string	シナリオ ID
Workflows[n].Path	string	シナリオのツリービュー上のパス
Workflows[n].Description	string	シナリオの説明

- 実行例

レスポンス

```
{
  "Workflows": [
    {
      "Id": "40030001",
      "Path": "Automation\\Automatic\\Network\\CreateTenantNW",
      "Description": "Create TenantNW"
    },
    {
      "Id": "40030002",
      "Path": "Automation\\Automatic\\Network\\CreateVLAN",
      "Description": "Create VLAN"
    }
  ]
}
```

1.10 ワークフロー実行 API

指定されたワークフローを実行します。ワークフローへのパラメータは JSON 形式のプロパティを POST することにより実現します。

- HTTP メソッド

POST

- URL

```
/umf/workflow/<ID>/execute
```

<ID>にはワークフローIDを指定します。ワークフローIDを確認するには以下を実施してください。

1. 「WebSAM vDC Automation Svc」がインストールされているマシン上で、「WebSAM vDC Automation Console」を起動します。
2. 「システム」タブの「シナリオ制御ビュー」の配下から実行対象のワークフローを探し、クリックします。
3. [シナリオ制御ビュー]-[Automation]-[Automatic]-[Network]-[CreateTenantNW] ウィンドウの「プロパティビュー」タブをクリックします。
4. ここに表示された「シナリオID」の値が本APIで指定するワークフローIDです。

ワークフローIDの詳細については『WebSAM SystemManager G マニュアル』を参照してください。

- パラメータ

JSON形式でワークフローに渡す任意のパラメータ(KEY,VALUE)を指定します。KEY,VALUEはそれぞれワークフロー内のローカルオブジェクト名とその値に対応します。実行されたワークフローインスタンス内からこれらのローカルオブジェクトの値を参照できます。

ワークフローがどのような名前のローカルオブジェクトを参照していてどのように値を使用しているかはワークフローによります。各ワークフローの仕様をご確認ください。本製品に標準添付されるワークフローにつきましては『Network Automation ワークフローテンプレートリファレンス』の『第3章 各種ワークフローテンプレートの詳細』に記載されています。

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
202	受理	ワークフローの起動に成功

- レスポンス (JSON)

キー	型	説明
executionid	string	実行したワークフローのシナリオ実行ID(要求ID)を返却する。このIDはワークフローの結果問い合わせに使用する。

- 実行例

リクエスト

```
PUT /workflow/40030001/execute
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-UMF-API-Version: 3.0.0.201601
Date: Fri, 10 Apr 2017 08:12:31 GMT
Authorization: SharedKeyLite <AccessKeyId>:<Signature>
```

```
{
  "TenantID" : "TenantA",
  "DCResourceType" : "TenantNW",
  :
  :
}
```

レスポンス

```
{
  "executionid": "400300012017041000001"
}
```

1.11 ワークフロー実行結果取得 API

実行されたワークフローの実行結果を返却します。また、ワークフロー内で設定されたローカルオブジェクトの名前とその値のペアを返却します。

- HTTP メソッド

GET

- URL

/umf/workflowinstance/<ID>

<ID>にはワークフロー実行時に得られたシナリオ実行 ID(要求 ID)を指定します。

- パラメータ

なし

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	ワークフローの結果取得に成功

- レスポンス (JSON)

キー	型	説明
status	string	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "NOTFOUND" 未取得 • "SUCCEED" 正常終了 • "ALERT" 警告終了 • "FAILED" 異常終了 • "FORCED" 強制終了 • "NOTRUNNING" 未実行 • "RUNNING" 実行中 • "AWAIT" 待ち受け中
progress	number	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。

キー	型	説明
resultdata	object	以下の値のいずれかを返す。
resultdata.LocalObjectName	string	LocalObjectName は不定。ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。

- 実行例

レスポンス

```
{
  "status" : "SUCCEED",
  "progress" : 100,
  "resultdata" : {
    "PARAM1" : "VALUE1",
    "PARAM2" : "VALUE2",
    "PARAM3" : "VALUE3"
  }
}
```

1.12 ワークフロー実行キャンセル API

実行されたワークフローを中断します。

- HTTP メソッド

DELETE

- URL

/umf/workflowinstance/<ID>

<ID> にはワークフロー実行時に得られたシナリオ実行 ID(要求 ID)を指定します。

- パラメータ

なし

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	キャンセルに成功

- レスポンス (JSON)

なし

1.13 テナント情報登録 API

テナントを登録した際に、Network Automation にテナント登録を通知します。

- HTTP メソッド

```
POST
```

- URL

```
/umf/tenant/TenantID
```

- パラメータ

キー	型	説明
TenantName	string	登録したテナントのテナント名

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功

- レスポンス (JSON)

なし

- 実行例

リクエスト

```
POST /umf/tenant/TenantID HTTP/1.0
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-UMF-API-Version: 2.2.0.201501
Date: Fri, 10 Apr 2015 08:12:31 GMT
Authorization: SharedKeyLite <AccessKeyId>:<Signature>

{
  "TenantName": "テナント B"
}
```

1.14 テナント情報変更 API

テナント情報を変更した際に、Network Automation にテナント情報変更を通知します。

- HTTP メソッド

```
PUT
```

- URL

```
/umf/tenant/TenantID
```

- パラメータ

キー	型	説明
TenantName	string	変更したテナントのテナント名

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功

- レスポンス (JSON)

なし

- 実行例

リクエスト

```
PUT /umf/tenant/TenantID HTTP/1.0
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-UMF-API-Version: 2.2.0.201501
Date: Fri, 10 Apr 2015 08:12:31 GMT
Authorization: SharedKeyLite <AccessKeyId>:<Signature>

{
  "TenantName": "テナント B"
}
```

1.15 テナント情報削除 API

テナント情報を削除した際に、Network Automation にテナント情報削除を通知します。

- HTTP メソッド

```
DELETE
```

- URL

```
/umf/tenant/TenantID
```

- パラメータ

なし

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功
404	Not Found	指定されたテナント ID が見つからない

- レスポンス (JSON)

なし

1.16 DC リソースグループ一覧取得 API

リソースグループの一覧を取得します。

- HTTP メソッド

GET

- URL

/umf/dcresource/groups

- パラメータ

なし

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功

- レスポンス (JSON)

キー	型	説明
Groups	object[]	リソースグループの配列
Groups[n].Name	string	リソースグループ名多段構成の場合、 <GroupName/GroupName>の形式。 共通グループが存在する場合、グループ名のパスには共通グループも含まれます。
Groups[n].Priority	number	優先度
Groups[n].PodName	string	所属 Pod 名
Groups[n].ThresholdOver	boolean	閾値越え状態
Groups[n].PodExtension	boolean	Pod 拡張可否
Groups[n].SharedType	string	phase2 のテナント NW 作成で、リソースグループ省略した時に、自動選択の対象にするか否か { Dedicated Shared }
Groups[n].ResourcePoolThreshold	object	リソースに関する閾値
Groups[n].ResourcePoolThreshold.CPUcount	number	リソースプールの空 CPU (個数) 使用量に対する閾値
Groups[n].ResourcePoolThreshold.CPUmhz	number	リソースプールの空 CPU (MHz) 使用量に対する閾値
Groups[n].ResourcePoolThreshold.Memory	number	リソースプールのメモリ使用量に対する閾値
Groups[n].ResourcePoolThreshold.VMcount	number	リソースプールの VM 数に対する閾値
Groups[n].ResourcePoolThreshold.Storage	number	リソースプールのディスク使用量に対する閾値
Groups[n].ResourcePoolThreshold.ForceMode	boolean	閾値越えをした場合にエラーにするかそれとも、無理やりリソースを払い出すかどうかを決定

キー	型	説明
Groups[n].ResourcePoolThreshold.CapacityType	string	{ real reserved }
Groups[n].ResourcePoolsIdentifier	string	SSC リソースプール識別子
Groups[n].ResourcePools	string[]	SSC リソースプール名の配列
Groups[n].GroupType	string	グループ種別 <ul style="list-style-type: none"> • RG : リソースグループ • RMG : リソース管理グループ
Groups[n].ResourceTags	object[]	タグ情報
Groups[n].ResourceTags[m].Key	string	キー
Groups[n].ResourceTags[m].Value	string	値

- 実行例

レスポンス

```
{
  "Groups" : [ {
    "SharedType" : "Shared",
    "ThresholdOver" : false,
    "GroupType" : "RG",
    "PodName" : "GM1",
    "Priority" : 1,
    "PodExtension" : true,
    "ResourcePools" : [ ],
    "ResourceTags" : [ ],
    "Name" : "GroupA",
    "ResourcePoolsIdentifier" : "",
    "ResourcePoolThreshold" : {
      "CapacityType" : "",
      "CPUmhz" : 0,
      "ForceMode" : false,
      "VMcount" : 0,
      "CPUcount" : 0,
      "Storage" : 0,
      "Memory" : 0
    }
  }, {
    "SharedType" : "Shared",
    "ThresholdOver" : false,
    "GroupType" : "RMG",
    "PodName" : "",
    "Priority" : 1,
    "PodExtension" : true,
    "ResourcePools" : [ ],
    "ResourceTags" : [ ],
    "Name" : "GroupA/RG-A",
    "ResourcePoolsIdentifier" : "",
    "ResourcePoolThreshold" : {
      "CapacityType" : "",
      "CPUmhz" : 0,
      "ForceMode" : true,
      "VMcount" : 0,
      "CPUcount" : 0,

```

```

    "Storage" : 0,
    "Memory" : 0
  }
} ]
}

```

1.17 DC リソースグループ詳細取得 API

指定されたリソースグループの詳細情報を取得します。

- HTTP メソッド

```
GET
```

- URL

```
/umf/dcresource/groups/<ResourceGroupName>
```

<ResourceGroupName> には、リソースグループ名を指定してください。

- パラメータ

なし

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功
404	Not Found	指定したリソースグループが存在しない

- レスポンス (JSON)

キー	型	説明
DCResourcePools	object[]	
DCResourcePools[n].GroupName	string	リソースグループ名多段構成の場合、<GroupName/GroupName>の形式。共通グループが存在する場合、グループ名のパスには共通グループも含まれます。
DCResourcePools[n].Groups	string[]	配下のリソースグループ一覧
DCResourcePools[n].Priority	number	リソースグループの優先度
DCResourcePools[n].PodName	string	所属 Pod 名
DCResourcePools[n].PodExtension	boolean	Pod 拡張(複数 Pod のリソースグループをまとめたグループで且つ、利用機器に PFC が含まれている場合 true となる)
DCResourcePools[n].ThresholdOver	boolean	閾値越え状態閾値を越えている場合は true となる
DCResourcePools[n].SharedType	string	phase2 のテナント NW 作成で、リソースグループ省略した時に、自動選択の対象にするか否か。 <ul style="list-style-type: none"> • Dedicated : 占有

キー	型	説明
		• Shared : 共有
DCResourcePools[n].ResourcePoolThreshold	object	リソースに関する閾値
DCResourcePools[n].ResourcePoolThreshold.CPUcount	number	リソースプールの空 CPU (個数) 使用量に対する閾値
DCResourcePools[n].ResourcePoolThreshold.CPUmhz	number	リソースプールの空 CPU (MHz) 使用量に対する閾値
DCResourcePools[n].ResourcePoolThreshold.Memory	number	リソースプールのメモリ使用量に対する閾値
DCResourcePools[n].ResourcePoolThreshold.VMcount	number	リソースプールの VM 数に対する閾値
DCResourcePools[n].ResourcePoolThreshold.Storage	number	リソースプールのディスク使用量に対する閾値
DCResourcePools[n].ResourcePoolThreshold.ForceMode	boolean	閾値越えをした場合にエラーにするかそれとも、強制的にリソースを払い出すかどうかを決定。強制的にリソースを払い出す設定の場合に true となる。
DCResourcePools[n].ResourcePoolThreshold.CapacityType	string	リソースプールの空き容量の計算方式。 { real reserved }
DCResourcePools[n].ResourcePoolsIdentifier	string	SSC リソースプール識別子
DCResourcePools[n].ResourcePools	string[]	SSC リソースプール情報の配列
DCResourcePools[n].VLANTotalCount	number	管理グループ内の VLAN 総数
DCResourcePools[n].VLANUnused	number	管理グループ内の未使用 VLAN 総数
DCResourcePools[n].VLANConsumed	number	管理グループ内の消費 VLAN 総数
DCResourcePools[n].VLANCapacity	number	管理グループ内の有効 VLAN 総数
DCResourcePools[n].VLANDisabled	number	管理グループ内の使用不可 VLAN 総数
DCResourcePools[n].VLANUnallocated	number	管理グループ内の VLAN 種別未割当の VLAN 未使用量
DCResourcePools[n].VLAN	object[]	SSC リソースプール名の配列
DCResourcePools[n].VLAN[n].Type	string	VLAN 種別。 • ManagementVLAN • TenantVLAN • BusinessVLAN • PublicVLAN • WANServiceVLAN
DCResourcePools[n].VLAN[n].Capacity	number	VLAN 総数
DCResourcePools[n].VLAN[n].Consumed	number	VLAN 消費量
DCResourcePools[n].VLAN[n].Unused	number	VLAN 未使用量
DCResourcePools[n].VLAN[n].Allocated	number	VLAN 種別割当済みの VLAN 未使用量
DCResourcePools[n].VLAN[n].Threshold	number	VLAN 閾値

キー	型	説明
DCResourcePools[n].VLAN[n].ThresholdOver	boolean	閾値越え状態(閾値を超えた場合 true)。
DCResourcePools[n].VLAN[n].ForceMode	boolean	閾値越えをした場合にエラーにするか、それとも、強制的にリソースを払い出すかどうかを決定。強制的にリソースを払い出す設定の場合に true となる。
DCResourcePools[n].VLAN[n].Ledger	object[]	VLAN 一覧
DCResourcePools[n].VLAN[n].Ledger[m].ID	number	VLAN-ID
DCResourcePools[n].VLAN[n].Ledger[m].LogicalName	string	SSC 論理 NW 名
DCResourcePools[n].VLAN[n].Ledger[m].IPSubnetAddress	string	IP サブネット
DCResourcePools[n].VLAN[n].Ledger[m].IPSubnetMask	string	IP サブネットマスク
DCResourcePools[n].TenantNW	object[]	マルチテナント対応機器一覧
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Type	string	マルチテナント対応機器種別。 <ul style="list-style-type: none"> • TFW • LB • SSL • BFW
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Capacity	number	マルチテナント対応機器総数
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Consumed	number	マルチテナント対応機器消費量
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Unused	number	マルチテナント対応機器未使用量
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Threshold	number	マルチテナント対応機器閾値
DCResourcePools[n].TenantNW[n].ThresholdOver	boolean	閾値越え状態(閾値を超えた場合 true)
DCResourcePools[n].TenantNW[n].ForceMode	boolean	閾値越えをした場合にエラーにするか、それとも、無理やりリソースを払い出すかどうかを決定。
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices	object[]	マルチテナント対応機器装置一覧
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].Name	string	マルチテナント対応機器装置名 or クラスタグループ
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].Capacity	number	マルチテナント対応機器数
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].Consumed	number	マルチテナント対応機器消費量
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].Unused	number	マルチテナント対応機器未使用量
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].Threshold	number	マルチテナント対応機器閾値

キー	型	説明
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].ThresholdOver	boolean	閾値越え状態(閾値を超えた場合 true)
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].Priority	number	マルチテナント対応機器優先度
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].Relations[l].Vname	string	論理 FW 名/論理 LB 名
DCResourcePools[n].TenantNW[n].Devices[m].VirtualNode	string	装置名/仮想ノード名
DCResourcePools[n].PhysicalSVCapacity	number	物理サーバの総数
DCResourcePools[n].PhysicalSVConsumed	number	物理サーバの消費量
DCResourcePools[n].PhysicalSVUnused	number	物理サーバの未使用量
DCResourcePools[n].PhysicalSVThreshold	number	物理サーバの閾値
DCResourcePools[n].PhysicalSVThresholdOver	boolean	閾値越え状態(閾値を超えた場合 true)
DCResourcePools[n].PhysicalSVOsGoldImages	string[]	物理サーバの OS イメージ名一覧
DCResourcePools[n].PhysicalSVDevices	object[]	物理サーバの一覧
DCResourcePools[n].PhysicalSVDevices[n].Name	string	物理サーバの名前
DCResourcePools[n].PhysicalSVDevices[n].Property	string	物理サーバのプロパティ情報
DCResourcePools[n].PhysicalSVDevices[n].Priority	number	物理サーバの優先度
DCResourcePools[n].DiskvolumeCapacity	number	ディスクボリュームの総数
DCResourcePools[n].DiskvolumeConsumed	number	ディスクボリュームの消費量
DCResourcePools[n].DiskvolumeUnused	number	ディスクボリュームの未使用量
DCResourcePools[n].DiskvolumeThreshold	number	ディスクボリュームの閾値
DCResourcePools[n].DiskvolumeThresholdOver	boolean	閾値越え状態(配下の DC リソース (SSC は含まず) の中で1つでも閾値を超えたリソースが存在した場合 true)
DCResourcePools[n].Diskvolume	object[]	ディスクボリュームの一覧
DCResourcePools[n].Diskvolume[n].Name	string	ディスクボリュームの名前
DCResourcePools[n].Diskvolume[n].DiskArray	string	ディスクボリュームの所属ディスクアレイ名
DCResourcePools[n].DeviceNode	object[]	デバイスノード一覧

キー	型	説明
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Name	string	機器名/グループノード名
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].GUID	string	機器/グループノードの DcResourceID
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].GroupName	string	所属 DC リソースグループ名
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].PodName	string	装置が登録されている MoM 名(Automation を行う MoM)
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].IP	string	装置 IP アドレス
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Type	string	機器種別
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].IconType	string	アイコンタイプ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].ClusterType	string	クラスタグループのタイプ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].AutomationSoft	string	オートメーション実行するソフト
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].AutomationCmd	string	オートメーション実行コマンドパス名
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].AutomationCmdArg	string	オートメーション実行コマンドパスパラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].SscResourcePool	string	vSW が所属する SSC リソースプールの DcResourceID
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext1	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext2	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext3	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext4	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext5	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext6	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext7	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext8	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext9	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext10	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext11	string	装置固有拡張パラメータ

キー	型	説明
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext12	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext13	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext14	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Ext15	string	装置固有拡張パラメータ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option1	string	オプション 1
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option2	string	オプション 2
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option3	string	オプション 3
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option4	string	オプション 4
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option5	string	オプション 5
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option6	string	オプション 6
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option7	string	オプション 7
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option8	string	オプション 8
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option9	string	オプション 9
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Option10	string	オプション 10
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].vSwitchType	string	仮想スイッチ種別
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Unused	number	機器諸元の未使用数
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].Memo	string	メモ
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].vSWName	string	仮想 SW 名
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].ResourceCount	number	装置固有諸元値。最大アクティブ VLAN 数等
DCResourcePools[n].DeviceNode[n].VirtualNode	string	装置名/仮想ノード名
DCResourcePools[n].GroupType	string	グループ種別。 <ul style="list-style-type: none"> • RG : リソースグループ • RMG : リソース管理グループ
DCResourcePools[n].ResourceTags	object[]	タグ情報
DCResourcePools[n].ResourceTags[m].Key	string	キー

キー	型	説明
DCResourcePools[n].ResourceTags[m].Value	string	値
DCResourcePools[n].Controllers	object[]	共通グループで利用している Controller 情報。共通グループ指定時に出力
DCResourcePools[n].Controllers[n].Controller	object[]	両端の Controller 情報
DCResourcePools[n].Controllers[n].Controller[n].Name	string	Controller 名
DCResourcePools[n].Controllers[n].Controller[n].Type	string	Controller 種別
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries	object[]	Boundary 情報
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].Name	string	Boundary 名
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].Capacity	number	Boundary の総 VLAN 数
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].Unused	number	Boundary の空き VLAN 数
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].VLAN	object[]	Boundary の使用 VLAN 情報
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].VLAN[n].ID	number	VLANID
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].VLAN[n].TenantID	string	対象の VLANID を使用しているテナント ID
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].LogicalPorts	object[]	両端の LogicalPort 情報
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].LogicalPorts[n].ControllerName	string	LogicalPort が所属する Controller 名
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].LogicalPorts[n].DomainName	string	LogicalPort が所属する Domain 名
DCResourcePools[n].Controllers[n].Boundaries[n].LogicalPorts[n].LogicalPortName	string	LogicalPort 名

- 実行例

レスポンス

```
{
  "DCResourcePools" : [ {
    "SharedType" : "Shared",
    "DeviceNode" : [ {
      "Ext14" : "",
      "AutomationCmdArg" : "",
      "Option10" : "",
      "Ext15" : "",
      "Ext1" : "",
      "Ext2" : "",
```

```
"Ext3" : "1389",
"Option1" : "",
"Ext4" : "",
"GroupName" : "CG-A",
"PodName" : "GM1",
"Option2" : "",
"Ext5" : "",
"AutomationCmd" : "%SYSTEM_FW_BINPATH%/nvpdevcmdexe.exe",
"AutomationSoft" : "NetvisorProV",
"ClusterType" : "",
"Unused" : 4000,
"Option3" : "",
"Ext6" : "32",
"Option4" : "",
"Ext7" : "0",
"IP" : "",
"Option5" : "",
"Ext8" : "1",
"Memo" : "",
"Option6" : "",
"Ext9" : "",
"Type" : "LB",
"GUID" : "W23460A4AABD44F9F95A8877F70F991BA",
"Option7" : "",
"IconType" : "BIG-IP_V9",
"Option8" : "",
"Name" : "big-ip-1.local",
"vSWName" : "",
"Option9" : "",
"Ext10" : "",
"Ext11" : "",
"Ext12" : "",
"vSwitchType" : "",
"Ext13" : "",
"SrcResourcePool" : "",
"ResourceCount" : 4000
}, {
"Ext14" : "",
"AutomationCmdArg" : "",
"Option10" : "",
"Ext15" : "",
"Ext1" : "",
"Ext2" : "",
"Ext3" : "1389",
"Option1" : "",
"Ext4" : "",
"GroupName" : "CG-A",
"PodName" : "GM1",
"Option2" : "",
"Ext5" : "",
"AutomationCmd" : "%SYSTEM_FW_BINPATH%/nvpdevcmdexe.exe",
"AutomationSoft" : "NetvisorProV",
"ClusterType" : "",
"Unused" : 4000,
"Option3" : "",
"Ext6" : "32",
"Option4" : "",
"Ext7" : "0",
```

```
"IP" : "",
"Option5" : "",
"Ext8" : "1",
"Memo" : "",
"Option6" : "",
"Ext9" : "",
"Type" : "LB",
"GUID" : "W402A0F54496941D39A08C74F4393429D",
"Option7" : "",
"IconType" : "BIG-IP_V9",
"Option8" : "",
"Name" : "big-ip-2.local",
"vSWName" : "",
"Option9" : "",
"Ext10" : "",
"Ext11" : "",
"Ext12" : "",
"vSwitchType" : "",
"Ext13" : "",
"SscResourcePool" : "",
"ResourceCount" : 4000
}, {
  "Ext14" : "",
  "AutomationCmdArg" : "",
  "Option10" : "",
  "Ext15" : "",
  "Ext1" : "",
  "Ext2" : "",
  "Ext3" : "",
  "Option1" : "",
  "Ext4" : "",
  "GroupName" : "CG-A",
  "PodName" : "GM1",
  "Option2" : "",
  "Ext5" : "",
  "AutomationCmd" : "",
  "AutomationSoft" : "",
  "ClusterType" : "Act-Act",
  "Unused" : 0,
  "Option3" : "",
  "Ext6" : "",
  "Option4" : "",
  "Ext7" : "",
  "IP" : "",
  "Option5" : "",
  "Ext8" : "",
  "Option6" : "",
  "Ext9" : "",
  "Memo" : "",
  "Type" : "ClusterG",
  "GUID" : "WF47A3D720A844EA19150705F15F5594B",
  "Option7" : "",
  "IconType" : "",
  "Option8" : "",
  "Name" : "CG-A",
  "Option9" : "",
  "vSWName" : "",
  "Ext10" : "",
```

```
"Ext11" : "",
"Ext12" : "",
"Ext13" : "",
"vSwitchType" : "",
"SrcResourcePool" : "",
"ResourceCount" : 0
}, {
  "Ext14" : "",
  "AutomationCmdArg" : "",
  "Option10" : "",
  "Ext15" : "",
  "Ext1" : "TFW",
  "Ext2" : "200",
  "Ext3" : "",
  "Option1" : "",
  "Ext4" : "1389",
  "GroupName" : "",
  "PodName" : "MoM1",
  "Option2" : "",
  "Ext5" : "",
  "AutomationCmd" : "%SYSTEM_FW_BINPATH%/nvpdevcmdexe.exe",
  "AutomationSoft" : "NetvisorProV",
  "ClusterType" : "",
  "Unused" : 4000,
  "Option3" : "",
  "Ext6" : "",
  "Option4" : "",
  "Ext7" : "",
  "IP" : "",
  "Option5" : "",
  "Ext8" : "",
  "Option6" : "",
  "Ext9" : "",
  "Memo" : "",
  "Type" : "TFW",
  "GUID" : "WB2A5BF99103F40379CA76431542868A1",
  "Option7" : "",
  "IconType" : "FortiGate",
  "Option8" : "",
  "Name" : "FortiGateA",
  "Option9" : "",
  "vSWName" : "",
  "Ext10" : "",
  "Ext11" : "1",
  "Ext12" : "",
  "Ext13" : "",
  "vSwitchType" : "",
  "SrcResourcePool" : "",
  "ResourceCount" : 4000
} ],
"DiskvolumeUnused" : 0,
"ThresholdOver" : false,
"Groups" : [ ],
"VLANConsumed" : 4,
"PhysicalSVDevices" : [ ],
"VLANTotalCount" : 4093,
"VLAN" : [ {
  "ThresholdOver" : false,
```

```
"Allocated" : 0,
"Consumed" : 2,
"Unused" : 4089,
"ForceMode" : true,
"Ledger" : [ {
  "IPSubnetMask" : "255.255.255.0",
  "IPSubnetAddress" : "10.0.2.0",
  "ID" : 2,
  "LogicalName" : "LNW0002_2"
}, {
  "IPSubnetMask" : "255.255.255.0",
  "IPSubnetAddress" : "10.0.3.0",
  "ID" : 3,
  "LogicalName" : "LNW0003_3"
} ],
"Threshold" : 0,
"Type" : "BusinessVLAN",
"Capacity" : 4091
}, {
  "ThresholdOver" : false,
  "Allocated" : 0,
  "Consumed" : 1,
  "Unused" : 4089,
  "ForceMode" : true,
  "Ledger" : [ {
    "IPSubnetMask" : "255.255.255.0",
    "IPSubnetAddress" : "10.0.0.0",
    "ID" : 1001,
    "LogicalName" : "LNW0001001_0"
  } ],
  "Threshold" : 0,
  "Type" : "ManagementVLAN",
  "Capacity" : 4090
}, {
  "ThresholdOver" : false,
  "Allocated" : 0,
  "Consumed" : 0,
  "Unused" : 4089,
  "ForceMode" : true,
  "Ledger" : [ ],
  "Threshold" : 0,
  "Type" : "PublicVLAN",
  "Capacity" : 4089
}, {
  "ThresholdOver" : false,
  "Allocated" : 0,
  "Consumed" : 1,
  "Unused" : 4089,
  "ForceMode" : true,
  "Ledger" : [ {
    "IPSubnetMask" : "255.255.255.0",
    "IPSubnetAddress" : "10.0.1.0",
    "ID" : 1002,
    "LogicalName" : "LNW0001002_1"
  } ],
  "Threshold" : 0,
  "Type" : "TenantVLAN",
  "Capacity" : 4090
```



```
}, {
  "ThresholdOver" : false,
  "Allocated" : 0,
  "Consumed" : 0,
  "Unused" : 4089,
  "ForceMode" : true,
  "Ledger" : [ ],
  "Threshold" : 0,
  "Type" : "WANServiceVLAN",
  "Capacity" : 4089
} ],
"PhysicalSVUnused" : 0,
"PodName" : "",
"GroupName" : "GroupA/RGroupA",
"PhysicalSVOsGoldImages" : [ ],
"TenantNW" : [ {
  "ThresholdOver" : false,
  "Devices" : [ {
    "ThresholdOver" : false,
    "Consumed" : 0,
    "Unused" : 200,
    "Priority" : 1,
    "Threshold" : 0,
    "Relations" : [ ],
    "Capacity" : 200,
    "Name" : "FortiGateA"
  } ],
  "Consumed" : 0,
  "Unused" : 10,
  "ForceMode" : false,
  "Threshold" : 0,
  "Type" : "TFW",
  "Capacity" : 10
}, {
  "ThresholdOver" : false,
  "Devices" : [ {
    "ThresholdOver" : false,
    "Consumed" : 0,
    "Unused" : 32,
    "Priority" : 1,
    "Threshold" : 0,
    "Relations" : [ ],
    "Capacity" : 32,
    "Name" : "CG-A"
  } ],
  "Consumed" : 0,
  "Unused" : 20,
  "ForceMode" : false,
  "Threshold" : 0,
  "Type" : "LB",
  "Capacity" : 20
}, {
  "Consumed" : 0,
  "Devices" : [ ],
  "Unused" : 0,
  "Type" : "BFW",
  "Capacity" : 0
}, {
```

```

    "Consumed" : 0,
    "Devices" : [ ],
    "Unused" : 0,
    "Type" : "SSL",
    "Capacity" : 0
  } ],
  "DiskvolumeCapacity" : 0,
  "Priority" : 1,
  "PhysicalSVConsumed" : 0,
  "PodExtension" : false,
  "ResourcePools" : [ ],
  "VLANUnused" : 4089,
  "VLANCapacity" : 4093,
  "DiskvolumeThresholdOver" : false,
  "Diskvolume" : [ ],
  "PhysicalSVCapacity" : 0,
  "ResourcePoolsIdentifier" : "",
  "ResourcePoolThreshold" : {
    "CapacityType" : "",
    "CPUmhz" : 0,
    "ForceMode" : true,
    "VMcount" : 0,
    "CPUcount" : 0,
    "Storage" : 0,
    "Memory" : 0
  },
  "VLANUnallocated" : 4089,
  "DiskvolumeConsumed" : 0,
  "PhysicalSVThresholdOver" : false,
  "VLANDisabled" : 0
} ]
}

```

1.18 グローバル IP 登録名一覧取得 API

払出し可能な IP アドレスの一覧を出力します。

- HTTP メソッド

```
GET
```

- URL

```
/umf/globalip/list
```

- パラメータ
なし
- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功

- レスポンス (JSON)

キー	型	説明
GlobalIPs	object[]	IP アドレス一覧
GlobalIPs[n].IdentifierName	string	DC リソース管理上での登録名。 最大長：64 文字
GlobalIPs[n].IpType	string	IP アドレスの種類。 { "IPv4" "IPv6" }
GlobalIPs[n].MAXAllocationCount	string	最大割り当て可能数。 0~2147483647
GlobalIPs[n].RemainingCount	string	残り割り当て可能数。 0~2147483647
GlobalIPs[n].IPv4Address	string	IPv4 アドレス。 nnn.nnn.nnn.nnn(IPv4 表現形式)
GlobalIPs[n].IPv4Prefix	string	IPv4 プレフィックス。 サブネットマスクのビット長(8-24)
GlobalIPs[n].IPv6Address	string	IPv6 アドレス。 hhhh:hhhh:hhhh:hhhh::(IPv6 表現形式)
GlobalIPs[n].IPv6Prefix	string	IPv6 プレフィックス。 プレフィックスのビット長(16-63)
GlobalIPs[n].RegistDate	string	登録日。 yyyy/mm/dd hh:mm:ss
GlobalIPs[n].Memo	string	メモ。 最大長：256 文字
GlobalIPs[n].ResourceTags	object[]	タグ情報
GlobalIPs[n].ResourceTags[m].Key	string	キー
GlobalIPs[n].ResourceTags[m].Value	string	値

- 実行例

レスポンス

```
{
  "GlobalIPs": [
    {
      "IdentifierName": "IP アドレス 1",
      "IpType": "IPv4",
      "MAXAllocationCount": "100",
      "RemainingCount": "80",
      "IPv4Address": "192.168.0.1",
      "IPv4Prefix": "24",
      "IPv6Address": "",
      "IPv6Prefix": "",
      "RegistDate": "2013/12/31 23:59:59",
      "ResourceTags": [ ],
      "Memo": "メモです"
    },
    {
      "IdentifierName": "IP アドレス 2",
```

```

        "IpType": "IPv6",
        "MAXAllocationCount": "100",
        "RemainingCount": "80",
        "IPv4Address": "",
        "IPv4Prefix": "",
        "IPv6Address": "2001:db8::9abc",
        "IPv6Prefix": "63",
        "RegistDate": "2013/12/31 23:59:59",
        "ResourceTags": [
            {
                "Key": "Site",
                "Value": "Tokyo"
            }
        ],
        "Memo": "メモです"
    }
}

```

1.19 グローバル IP 取得 API

IP アドレスの払い出しをします。

- HTTP メソッド

POST

- URL

/umf/globalip/request

- パラメータ

キー	型	説明
ID	string(64)	テナント ID
IdentifierName	string(64)	登録名
IpType	string	グローバル IP のタイプ "IPv4" / "IPv6"
IPv4Prefix	string(64)	IPv4 プレフィックス。 サブネットマスクのビット長(8-30)
IPv6Prefix	string(64)	IPv6 プレフィックス。 プレフィックスのビット長(16-64)

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功
404	Not Found	指定されたグローバル IP が存在しない

- レスポンス (JSON)

キー	型	説明
ID	string(64)	テナント ID
IdentifierName	string(64)	登録名。リクエストと同じ。
AllocationID	string(64)	払い出し ID。 <登録番号>-<シーケンス番号>
IpType	string	グローバル IP のタイプ。リクエストと同じ。
IPv4Address	string	IPv4 アドレス。 nnn.nnn.nnn.nnn(IPv4 表現形式)
IPv4Prefix	string	IPv4 プレフィックス。リクエストと同じ。
IPv6Address	string	IPv6 アドレス。 hhhh:hhhh:hhhh:hhhh::(IPv6 表現形式)
IPv6Prefix	string	IPv6 プレフィックス。リクエストと同じ。
IPAddressList	string[]	利用可能な IP アドレスの一覧。 IpType の形式に従った IP アドレスイメージ。

- 実行例

リクエスト

```
{
  "ID": "TenantA",
  "IdentifierName": "IP アドレス 1",
  "IpType": "IPv4",
  "IPv4Prefix": "24",
  "IPv6Prefix": ""
}
```

レスポンス

```
{
  "ID": "TenantA",
  "IdentifierName": "IP アドレス 1",
  "AllocationID": "1234567890",
  "IpType": "IPv4",
  "IPv4Address": "192.168.0.1",
  "IPv4Prefix": "24",
  "IPv6Address": "",
  "IPv6Prefix": "",
  "IPAddressList": ["192.168.0.100", "192.168.0.101"]
}
```

1.20 グローバル IP 返却 API

IP アドレスの返却をします。

- HTTP メソッド

POST

- URL

```
/umf/globalip/release
```

- パラメータ

キー	型	説明
ID	string(64)	テナント ID
AllocationID	string(64)	払い出し ID。 <登録番号>-<シーケンス番号>

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功
404	存在不明	指定されたグローバル IP が存在しない

- レスポンス (JSON)

なし

- 実行例

リクエスト

```
{
  "ID": "TenantA",
  "AllocationID": "1234567890"
}
```

1.21 テナントに紐づく DC リソース詳細情報取得 API

テナントに払い出されているリソースを参照する。

- HTTP メソッド

```
POST
```

- URL

```
/umf/reserveddcresource/<TenantID>
```

<TenantID>はテナント ID を指定します。

- パラメータ

キー	型	説明
keys	string[]	取得する情報の名前を配列で複数指定する。

キー	型	説明
		"LB","TFW","SSL","VLAN","GROUP","BFW"以外指定不可とする。

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	テナントに紐づくリソース情報取得に成功

- レスポンス (JSON)

リクエストで"TFW"を指定した場合のレスポンス(JSON)

キー	型	説明
FWInfo	object[]	FW 情報の配列
FWInfo[n].Name	string	テナント FW 名
FWInfo[n].GroupName	string	リソース管理グループ名 (フルパス)
FWInfo[n].VLAN	object[]	VLAN 情報
FWInfo[n].VLAN[m].LogicalName	string	論理 NW 名
FWInfo[n].VLAN[m].IPAddress	string	IP アドレス
FWInfo[n].VLAN[m].ClusterIPAddress	string	クラスタ IP アドレス (非クラスタの場合は IPAddress と同じ値が出力されます)
FWInfo[n].VLAN[m].IPSubnetMask	string	IP サブネットマスク
FWInfo[n].VLAN[m].VLANType	string	VLAN 種別

注

論理 NW が接続されていないテナント FW は表示されません。

リクエストで"BFW"を指定した場合のレスポンス(JSON)

キー	型	説明
BFWInfo	object[]	BFW 情報の配列
BFWInfo[n].Name	string	BFW の VDOM 名
BFWInfo[n].GroupName	string	リソース管理グループ名 (フルパス)
BFWInfo[n].VLAN	object[]	VLAN 情報
BFWInfo[n].VLAN[m].LogicalName	string	論理 NW 名
BFWInfo[n].VLAN[m].IPAddress	string	IP アドレス
BFWInfo[n].VLAN[m].ClusterIPAdress	string	クラスタ IP アドレス (非クラスタの場合は IPAddress と同じ値が出力されます)
BFWInfo[n].VLAN[m].IPSubnetMask	string	IP サブネットマスク
BFWInfo[n].VLAN[m].VLANType	string	VLAN 種別

リクエストで"LB"を指定した場合のレスポンス(JSON)

キー	型	説明
LBInfo	object[]	LB 情報の配列
LBInfo[n].Name	string	LB 名

キー	型	説明
LBInfo[n].GroupName	string	リソース管理グループ名 (フルパス)
LBInfo[n].VLAN	object[]	VLAN 情報
LBInfo[n].VLAN[m].LogicalName	string	論理 NW 名
LBInfo[n].VLAN[m].IPAddress	string	IP アドレス
LBInfo[n].VLAN[m].ClusterIPAddress	string	クラスタ IP アドレス (非クラスタの場合は IPAddress と同じ値が出力されます)
LBInfo[n].VLAN[m].IPSubnetMask	string	IP サブネットマスク
LBInfo[n].VLAN[m].VLANType	string	VLAN 種別

注

論理 NW が接続されていない LB は表示されません。

リクエストで"SSL"を指定した場合のレスポンス(JSON)

キー	型	説明
SSLInfo	object[]	SSL 情報の配列
SSLInfo[n].Name	string	SSL の VDOM 名
SSLInfo[n].GroupName	string	リソース管理グループ名 (フルパス)
SSLInfo[n].VLAN	object[]	VLAN 情報
SSLInfo[n].VLAN[m].LogicalName	string	論理 NW 名
SSLInfo[n].VLAN[m].IPAddress	string	IP アドレス
SSLInfo[n].VLAN[m].ClusterIPAddresses	string	クラスタ IP アドレス (非クラスタの場合は IPAddress と同じ値が出力されます)
SSLInfo[n].VLAN[m].IPSubnetMask	string	IP サブネットマスク
SSLInfo[n].VLAN[m].SSLStartIP	string	SSL-VPN 接続後の IPNW アドレス(IPPOOL の IP アドレス)の開始 IP (形式例 : 192.168.0.252)
SSLInfo[n].VLAN[m].SSEndIP	string	SSL-VPN 接続後の IPNW アドレス(IPPOOL の IP アドレス)の終了 IP (形式例 : 192.168.0.253)
SSLInfo[n].VLAN[m].VLANType	string	VLAN 種別

リクエストで"GROUP"を指定した場合のレスポンス(JSON)

キー	型	説明
Groups	object[]	SSL 情報の配列
Groups[n].Name	string	リソース管理グループ名 (フルパス)
Groups[n].PodName	string	所属 MoM 名
Groups[n].ResourcePoolsIdentifier	string	SSC リソースプール識別子
Groups[n].ResourcePools	string[]	SSC リソースプール名一覧

リクエストで"VLAN"を指定した場合のレスポンス(JSON)

キー	型	説明
VLANInfo	object[]	VLAN 情報の配列
VLANInfo[n].LogicalName	string	論理 NW 名
VLANInfo[n].Type	string	VLAN 種別
VLANInfo[n].GroupName	string	所属リソースグループ名(フルパス)
VLANInfo[n].ID	number	VLAN ID
VLANInfo[n].IPAddress	string	IP アドレス
VLANInfo[n].IPSubnetMask	string	IP サブネットマスク
VLANInfo[n].ExtensionGroupName	string[]	拡張先のリソース管理グループ名
VLANInfo[n].Range	object[]	IP 範囲のオブジェクト
VLANInfo[n].Range[m].Type	string	リソースタイプ <ul style="list-style-type: none"> • "Allocation": VM に払い出す IP アドレス範囲 • "Exclusion": 自動的な払い出しから除外される IP アドレス範囲 • "FW": テナント FW に設定される IP アドレス範囲 • "LB": テナント LB に設定される IP アドレス範囲 • "SSL": SSL に設定される IP アドレス範囲
VLANInfo[n].Range[m].IPAddresses	string[]	IP アドレス範囲
VLANInfo[n].Resource	object[]	リソース情報
VLANInfo[n].Resource[m].Type	string	リソースタイプ {"TFW","LB","SSL","BFW" }
VLANInfo[n].Resource[m].IPAddress	string	リソース IP アドレス(クラスタの場合のみ複数出力されます)
VLANInfo[n].Resource[m].ClusterIPAddress	string	クラスタ IP アドレス (非クラスタの場合は IPAddress と同じ値が出力されます)
VLANInfo[n].Resource[m].Name	string	リソース名
VLANInfo[n].Resource[m].SSLStartIP	string	SSL-VPN 接続後の IPNW アドレス(IPPOOL の IP アドレス)の開始 IP*1 (形式例: 192.168.0.252)
VLANInfo[n].Resource[m].SSEndIP	string	SSL-VPN 接続後の IPNW アドレス(IPPOOL の IP アドレス)の終了 IP*1 (形式例: 192.168.0.253)

*1 VLANInfo[n].Resource[m].Type=SSL の場合のみ

注

論理 NW が接続されていないテナント FW、LB は表示されません。

• 実行例

リクエスト

```
POST /umf/reserveddcresource/<TenantID>
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-UMF-API-Version: 2.2.0.201501
Date: Fri, 10 Apr 2015 08:12:31 GMT
Authorization: SharedKeyLite :
{
  "keys": [
    "LB",
    "TFW",
    "BFW",
    "SSL",
    "VLAN",
    "GROUP"
  ]
}
```

レスポンス (リクエストで"TFW"を指定した場合)

```
HTTP/1.1 202 Accepted
Content-Type: application/json; charset=utf-8
{
  "FWInfo": [
    {
      "GroupName": "ResourceGroupA/ManagementGroupA",
      "Name": "TFWS200",
      "VLAN": [
        {
          "ClusterIPAddress": "192.168.0.254",
          "IPAddress": "192.168.0.254",
          "IPSubnetMask": "255.255.255.0",
          "LogicalName": "LogicalNW2428",
          "VLANType": "BusinessVLAN"
        }
      ]
    },
    {
      "GroupName": "ResourceGroupA/ManagementGroupA",
      "Name": "TFWS201",
      "VLAN": [
        {
          "ClusterIPAddress": "192.168.0.254",
          "IPAddress": "192.168.0.253",
          "IPSubnetMask": "255.255.255.0",
          "LogicalName": "LogicalNW2429",
          "VLANType": "BusinessVLAN"
        }
      ]
    }
  ]
}
```

レスポンス (リクエストで"LB"を指定した場合)

```
HTTP/1.1 202 Accepted
Content-Type: application/json; charset=utf-8
{
```

```

"LBInfo": [
  {
    "GroupName": "ResourceGroupA/ManagementGroupA",
    "Name": "LB200",
    "VLAN": [
      {
        "ClusterIPAddress": "192.168.0.254",
        "IPAddress": "192.168.0.254",
        "IPSubnetMask": "255.255.255.0",
        "LogicalName": "LogicalNW2428",
        "VlanType": "BusinessVLAN"
      }
    ]
  },
  {
    "GroupName": "ResourceGroupA/ManagementGroupA",
    "Name": "LB201",
    "VLAN": [
      {
        "ClusterIPAddress": "192.168.0.254",
        "IPAddress": "192.168.0.253",
        "IPSubnetMask": "255.255.255.0",
        "LogicalName": "LogicalNW2429",
        "VlanType": "BusinessVLAN"
      }
    ]
  }
]
}

```

レスポンス (リクエストで"SSL"を指定した場合)

```

HTTP/1.1 202 Accepted
Content-Type: application/json; charset=utf-8
{
  "SSLInfo": [
    {
      "GroupName": "ResourceGroupA/ManagementGroupA",
      "Name": "SSL200",
      "VLAN": [
        {
          "ClusterIPAddress": "192.168.0.254",
          "IPAddress": "192.168.0.254",
          "IPSubnetMask": "255.255.255.0",
          "LogicalName": "LogicalNW2428",
          "SSLEndIP": "192.168.0.254",
          "SSLStartIP": "192.168.0.224",
          "VlanType": "TenantVLAN"
        }
      ]
    },
    {
      "GroupName": "ResourceGroupA/ManagementGroupA",
      "Name": "SSL201",
      "VLAN": [
        {
          "ClusterIPAddress": "192.168.0.254",

```

```

        "IPAddress": "192.168.0.253",
        "IPSubnetMask": "255.255.255.0",
        "LogicalName": "LogicalNW2429",
        "SSLEndIP": "192.168.0.254",
        "SSLStartIP": "192.168.0.224",
        "VlanType": "TenantVLAN"
    }
  ]
}

```

レスポンス (リクエストで"GROUP"を指定した場合)

```

HTTP/1.1 202 Accepted
Content-Type: application/json; charset=utf-8
{
  "Groups" : [ {
    "Name" : "GroupA/RGroupA",
    "ResourcePoolsIdentifier" : "",
    "ResourcePools" : [ ],
    "PodName" : ""
  } ]
}

```

レスポンス (リクエストで"VLAN"を指定した場合)

```

HTTP/1.1 202 Accepted
Content-Type: application/json; charset=utf-8
{
  "VLANInfo" : [ {
    "Resource" : [ ],
    "Type" : "BusinessVLAN",
    "IPAddress" : "10.0.3.0",
    "ExtensionGroupName" : [ ],
    "LogicalName" : "LNW0003_3",
    "IPSubnetMask" : "255.255.255.0",
    "GroupName" : "GroupA/RGroupA",
    "Range" : [ {
      "Type" : "Allocation",
      "IPAddresses" : [ "0.0.0.0 - 0.0.0.0" ]
    }, {
      "Type" : "FW",
      "IPAddresses" : [ "0.0.0.254 - 0.0.0.254" ]
    }, {
      "Type" : "LB",
      "IPAddresses" : [ "0.0.0.250 - 0.0.0.253" ]
    } ],
    "ID" : 3
  }, {
    "Resource" : [ ],
    "Type" : "BusinessVLAN",
    "IPAddress" : "10.0.2.0",
    "ExtensionGroupName" : [ ],
    "LogicalName" : "LNW0002_2",
    "IPSubnetMask" : "255.255.255.0",
    "GroupName" : "GroupA/RGroupA",

```

```
"Range" : [ {
  "Type" : "Allocation",
  "IPAddresses" : [ "0.0.0.0 - 0.0.0.0" ]
}, {
  "Type" : "FW",
  "IPAddresses" : [ "0.0.0.254 - 0.0.0.254" ]
}, {
  "Type" : "LB",
  "IPAddresses" : [ "0.0.0.250 - 0.0.0.253" ]
} ],
"ID" : 2
}, {
  "Resource" : [ ],
  "Type" : "ManagementVLAN",
  "IPAddress" : "10.0.0.0",
  "ExtensionGroupName" : [ ],
  "LogicalName" : "LNW0001001_0",
  "IPSubnetMask" : "255.255.255.0",
  "GroupName" : "GroupA/RGroupA",
  "Range" : [ {
    "Type" : "Allocation",
    "IPAddresses" : [ "0.0.0.0 - 0.0.0.0" ]
  }, {
    "Type" : "BFW",
    "IPAddresses" : [ "0.0.0.254 - 0.0.0.254" ]
  } ],
  "ID" : 1001
}, {
  "Resource" : [ ],
  "Type" : "TenantVLAN",
  "IPAddress" : "10.0.1.0",
  "ExtensionGroupName" : [ ],
  "LogicalName" : "LNW0001002_1",
  "IPSubnetMask" : "255.255.255.0",
  "GroupName" : "GroupA/RGroupA",
  "Range" : [ {
    "Type" : "Allocation",
    "IPAddresses" : [ "0.0.0.0 - 0.0.0.0" ]
  }, {
    "Type" : "FW",
    "IPAddresses" : [ "0.0.0.254 - 0.0.0.254" ]
  }, {
    "Type" : "LB",
    "IPAddresses" : [ "0.0.0.247 - 0.0.0.250" ]
  }, {
    "Type" : "SSL",
    "IPAddresses" : [ "0.0.0.253 - 0.0.0.253" ]
  } ],
  "ID" : 1002
} ]
}
```

1.22 自動選択試行 API

VLAN 作成時などに行うリソースプールの自動選択処理を試行します。クライアントが、実際に VLAN 作成などを実行した際に選択されるリソースを事前に確認することを可能にします。

試行 API は

- テナント NW 作成
- テナント FW 作成
- LB 作成
- SSL 作成

のオペレーションで利用可能です。

- HTTP メソッド

POST

- URL

/umf/trial/workflow/ID/execute

- パラメータ

試行対象の各オペレーションと全く同じパラメータを入力してください。

- レスポンス (HTTP ステータスコード)

コード	意味	説明
200	受理	成功

- レスポンス (JSON)

選択可能なリソース管理グループ名または、リソースプール名を一覧で返却します。

ネットワーク系ワークフローの自動選択試行の場合

キー	型	説明
Candidates	object	選択候補の一覧 (選択したリソースを含め選択可能だったリソースの一覧)
Candidates.ManagementGroups	object[]	リソースプールの選択可能候補一覧
Candidates.ManagementGroups[m].ManagementGroupName	string	リソース管理グループ名(フルパス)
Candidates.ManagementGroups[m].Rank	number	選択候補内での順位を示します。1位のリソースが実際の作成時に選択されます。*1
Candidates.ManagementGroups[m].NotConformRule	string[]	一部のルールが不適合とした場合でも、選択対象とする場合があります。不適合としたルール名一覧。
Rejected	object	選択対象から除外したリソースの一覧
Rejected.ManagementGroups[m]	object[]	選択除外リソース管理グループ一覧

キー	型	説明
Rejected.ManagementGroups[m].ManagementGroupName	string	リソース管理グループ名(フルパス)
Rejected.ManagementGroups[m].RejectedRule	object	除外したルール
Rejected.ManagementGroups[m].RejectedRule.Name	string	ルール名
Rejected.ManagementGroups[m].RejectedRule.Message	string	除外した理由、メッセージなどの情報

*1 内部処理の結果、Rank1 ではなく、それ以下の Rank のリソースが選択される場合があります。

- 実行例

リクエスト(テナント NW 作成の場合)

```
GET /umf/autoselection
Content-Type: application/json; charset=utf-8
X-UMF-API-Version: 2.1
Date: Fri, 10 Apr 2015 11:25:35 GMT
Authorization: SharedKeyLite <AccessKeyId>:<Signature>
{
  "DeviceInfo" : {
    "Type" : null,
    "DeviceName" : null
  },
  "VlanInfoList" : [ {
    "Type" : "ManagementVLAN",
  }, {
    "Type" : "TenantVLAN",
  } ],
  "GroupInfoList" : {
    "Name" : null
  },
  "TenantID" : "TenantA",
  "DCResourceOperation" : "Create",
  "DCResourceType" : "TenantNW"
}
```

レスポンス

```
HTTP/1.1 202 Accepted
Content-Type: application/json; charset=utf-8
{
  "Candidates": {
    "ManagementGroups": [
      {
        "ManagementGroupName": "GroupA/GroupB/ManagementA",
        "NotConformRule": [
          "CPUResourceThresholdRule"
        ],
        "Rank": 1
      }
    ]
  }
}
```

```
    },
    {
      "ManagementGroupName": "GroupA/GroupB/ManagementB",
      "NotConformRule": [
        "CPUResourceThresholdRule",
        "MemoryResourceThresholdRule"
      ],
      "Rank": 2
    }
  ]
}
```


第2章

ワークフロー実行 API について

本章では、ワークフロー実行 API の使用方法について説明します。

目次

2.1 概要	42
2.2 実行方法	42
2.3 企業ネットワーク向けシナリオ	42
2.4 データセンター向けシナリオ	76

2.1 概要

WebSAM Network Automation では、NW の ICT リソースの払い出し・再構成・削除などの制御をワークフローと呼ばれる機能を用いて実現しています。

ワークフロー機能の説明については『Network Automation コンフィグレーションガイド』の『4.1 ワークフローを設定する』を参照してください。

WebSAM Network Automation では、RESTful API を利用してワークフローを実行することで、NW などの ICT リソースの払い出し・再構成・削除をポータルから指示することができます。

2.2 実行方法

ワークフロー実行するためには、「[1.10 ワークフロー実行 API \(6 ページ\)](#)」を利用します。

通常、WebSAM Network Automation が標準で用意しているワークフローは、ワークフロー中に定義されたローカルオブジェクトという変数にしたがって動作をします。

2.3 企業ネットワーク向けシナリオ

企業ネットワーク向けシナリオはシナリオ実行 API により、ワークフロー内で処理が行われます。Network Automation に予め同梱されているは下記の通りです。

各シナリオの詳細については『Network Automation ワークフローテンプレートリファレンス』を参照してください。

シナリオ名	概要
Automation\Automatic\NetworkEE\GetConfiguration	装置コンフィグ取得
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingRealNetwork	Real-network 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingVBridge	vBridge 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingPort	ポート設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingVRouter	vRouter 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingStaticRoute	ルーティング設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingAccessList	アクセスリスト設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingNATForFW	NAT 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingVirtualFW	仮想 FW 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingInterface	インタフェース設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingPolicyForFW	FW ポリシー設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingVirtualLB	仮想 LB 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingPolicyForLB	仮想 LB ポリシー設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingVRF	VRF 設定

シナリオ名	概要
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingVRRP	VRRP 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingZone	ゾーン設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingFlowFilter	FlowFilter 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingFlowList	FlowList 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingStorm	storm 設定
Automation\Automatic\NetworkEE\SettingLAG	LinkAggrigation 設定

以下では各シナリオについて説明します。

2.3.1 コンフィグ取得

装置からコンフィグ情報を取得し、ファイルに保存する。

- シナリオ名 GetConfiguration
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.nodeName	string	不可	コンフィグ取得を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.filePath	string	不可	取得したコンフィグ内容を出力するファイルパス*1。 広域管理サーバのファイルパスを指定する。指定したフォルダは事前に作成しておく必要がある。

*1 値のエスケープについて

- 「{[,:=}」を値に含む場合には、その文字の左側に「\」を追加してエスケープする。
- 「\」を値に含む場合には「\\」としてエスケープする。
- 「"」を値に含む場合には「\"」としてエスケープする。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設

キー	説明
	定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.2 Real-network 設定

PFC の real-network モードに関する設定を行う

- シナリオ名 SettingRealNetwork
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.subDomainList	object[]	可	サブドメイン情報リスト
param.subDomainList[n].subDomainId	string	不可	構成するサブドメインの識別子 [1~31文字]
param.subDomainList[n].ofsDomainId	string	可	サブドメインを登録する OFS ドメイン識別子 [1~31文字] 省略時には ofs-default-domain (Defaultドメイン) となる。
param.subDomainList[n].subDomainOperation	string	不可	サブドメインの構成情報("portList"、 "gatewayList")の操作を指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.subDomainList[n].portList	object[]	可	メンバーとして登録するポート一覧
param.subDomainList[n].portList[n].dpId	string	不可	メンバーとして登録する OFS の DPID (64bit16進数。 [0000-0000-0000-0000~ffff-ffff-ffff-fffe])
param.subDomainList[n].portList[n].portName	string	可	メンバーとして登録するポート名 [1~15文字]

パラメータ	型	省略可否	説明
param.subDomainList[n].gatewayList	object[]	可	ゲートウェイ一覧情報
param.subDomainList[n].gatewayList[n].dpId	string	不可	ゲートウェイとして登録する OFS の DPID (64bit16 進数。[0000-0000-0000-0000~ffff-ffff-ffff-fffe])
param.subDomainList[n].gatewayList[n].portName	string	可	ゲートウェイとして登録するポート名 [1~15 文字]
param.subDomainList[n].gatewayList[n].priority	number	可	OFS サブドメインゲートウェイのアクティブゲートウェイポートの優先度 [0-255] 省略時には 128 となる。
param.subDomainList[n].pathCtrlMethod	string	不可	OFS サブドメイン内の経路制御処理方式 "pf-standard", "pf-mac-forwarding", "pf-extension"
param.linkDownRelayList	object[]	可	リンクダウンリレーリスト
param.linkDownRelayList[n].policyName	string	不可	設定するポリシー名(半角英数字とアンダバーの組み合わせで最大 31 文字)
param.linkDownRelayList[n].state	string	不可	"policyName"に指定されたポリシーの有効/無効を指定する。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.linkDownRelayList[n].dpId	string	不可	DPID 値(64bit16 進数。 [0000-0000-0000-0000~ffff-ffff-ffff-fffe])
param.linkDownRelayList[n].portOperation	string	不可	リンクダウンリレーの対象ポート("monitor_port","action_port")の操作を指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.linkDownRelayList[n].monitorPort	object[]	可	監視対象ポートの一覧
param.linkDownRelayList[n].monitorPort[n].portName	string	不可	実行ポート名('? 'を除く半角英数記号の組み合わせで、最大 15 文字)
param.linkDownRelayList[n].monitorPort[n].checkType	string	不可	監視対象とするポートの状態 "internal"(内向きポート)、"external"(外向きポート)
param.linkDownRelayList[n].actionPort	object[]	可	実行ポートの一覧
param.linkDownRelayList[n].actionPort[n].portName	string	不可	実行ポート名('? 'を除く半角英数記号の組み合わせで、最大 15 文字)
param.linkDownRelayList[n].autoRecoveryDelayTime	number	可	リンクダウンリレー自動リカバリ適用時の遅延時間。10 進表記[1-600](秒) 省略時には 0 となる。
param.linkDownRelayList[n].recoveryMode	string	可	リカバリダウンリレーの復旧モードを指定 "auto"(自動) ,"manually"(手動) 省略時には auto となる。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "Parameter" パラメータエラー • "Device" 装置設定エラー • "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.3 vBridge 設定

PFC の vBridge 設定を行う

- シナリオ名 SettingVBridge
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"AddIF"(仮想 IF 追加)、 "DeleteIF"(仮想 IF 削除)、"Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vtnName	string	不可	仮想ネットワークを構築する仮想テナント名[1~31 文字]
param.vnodeName	string	不可	VTN 内に構築される、vBridge の識別名[1~31 文字]
param.vlan-map	object[]	可	vlanMap リスト
param.vlan-map[n].subDomainId	string	可	構成するサブドメイン識別子(サブドメイン名)[1~31 文字]
param.vlan-map[n].vlanId	number	不可	受信パケットの想定 vlanId [1~4094]

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.4 ポート設定

ポートの設定を行う

- シナリオ名 SettingPort
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.portId	string	不可	設定するポートの名称
param.vlanOperation	string	不可	ポートに設定される VLAN の操作を指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.vlan	number[]	可	設定する vlan 番号[1-4094] 下記の形式で記載することで範囲指定を可能とする。 "開始 VLANID-終了 VLANID"

パラメータ	型	省略可否	説明
param.nativeVLAN	number	可	対象ポートからの出力パケットに設定するポート vlan の番号[0-4094] 0 の場合には、ポート VLAN による VLAN-ID の付加を行わない。
param.description	string	可	設定する記載内容[1~64 文字]
param.mode	string	不可	VLAN モードを指定する。 "access_mode"(access モード)、 "trunk_mode"(trunk モード)
param.link	string	可	"portId"に指定したポートの状態の変更を行う。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.speed	number	可	転送速度 { 10 100 1000 10000 40000 auto [10 100 1000 10 100 100 1000 10 1000 10 100 1000] }

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.5 vRouter 設定

PFC の vRouter 設定を行う

- シナリオ名 SettingVRouter
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"AddIF"(仮想 IF 追加)、 "DeleteIF"(仮想 IF 削除)、"Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vtnName	string	不可	仮想ネットワークを構築する仮想テナント名[1~31 文字]
param.vnodeName	string	不可	VTN 内に構築される、vRouter の識別名[1~31 文字]
param.if_list	object[]	可	インタフェース情報リスト
param.if_list[n].ifId	string	不可	構成するインタフェースの識別子(仮想インタフェース名)[1~31 文字]
param.if_list[n].ipaddr	string	不可	設定する IP アドレス
param.if_list[n].mask	string	不可	設定する mask アドレス [128.0.0.0~255.255.255.252]
param.if_list[n].vBridgeName	string	不可	vRouter に接続する vBridge の識別名 [1~31 文字]
param.if_list[n].vBridgeIfId	string	不可	vRouter に接続する vBridge の IF 識別子[1~31 文字]
param.if_list[n].vLinkName	string	不可	vBridge と接続を行う vLink 名[1~31 文字]

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。

キー	説明
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.6 ルーティング設定

ルーティングの設定を行う

- シナリオ名 SettingStaticRoute
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vtnName	string	不可	ルーティング設定を行う vRouter のある VTN 名を指定する。 64 文字以内の文字列を(")で囲んで設定。英数字と特殊文字*1。
param.vnodeName	string	不可	ルーティングを設定する VRF (IP8800),vNode (FortiGate)もしくは、vRouter(PF6800)を指定する。 IP8800 : VRF [2-32] FortiGate: vNode [1-11 文字] PFC: vRouter[1-31 文字] Thunder: パーティション[1-14 文字]
param.routing	object[]	不可	ルーティング情報
param.routing[n].routingID	number	不可	ルーティングの識別子 [1-2147483647]
param.routing[n].destNWAddr	string	不可	宛先の NW アドレス
param.routing[n].destMaskAddr	string	不可	宛先の NW マスクアドレス
param.routing[n].gwAddr	string	不可	次ホップ GW アドレス
param.routing[n].metric	string	可	メトリック値/ディスタンス
param.routing[n].interface	string	不可	転送先インタフェース

*1 値のエスケープについて

- 「{[],:=」を値に含む場合には、その文字の左側に「\」を追加してエスケープする。
- 「\」を値に含む場合には「\\」としてエスケープする。
- 「"」を値に含む場合には「\"」としてエスケープする。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.7 アクセスリスト設定

スイッチのアクセスリスト設定を行う

- シナリオ名 SettingAccessList
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.accessListName	string	不可	アクセスリストを識別する名称(小文字英数 31 文字)
param.filterType	string	不可	設定するアクセスリストのフィルタ種別を指定する。 "addr"(アドレスフィルタ)、"pkt"(パケットフィルタ)、"mac"(MAC フィルタ)
param.remark	string	可	アクセスリスト補足説明 64 文字以内の文字列を(")で囲んで設定。英数字と特殊文字*1。

パラメータ	型	省略可否	説明
param.filterOperation	string	可	アクセスリストに設定するフィルタ定義の操作を指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.filter_addr	object[]	不可 (addr)	アドレスフィルタ情報
param.filter_addr[n].sequenceNo	number	不可	フィルタ条件の適用順序。 [1-4294967294](10進数)を指定
param.filter_addr[n].action	string	可	フィルタ条件一致時の動作指定 "permit"(アクセス許可)、"deny"(アクセス拒否)
param.filter_addr[n].addrType	string	可	IP アドレスの指定方法。"host"、 "wildcard"、"any"が指定可能。
param.filter_addr[n].address	string	可	IP アドレス[0.0.0.0-255.255.255.255]
param.filter_addr[n].addrWildcard	string	可	IPv4 アドレスの中で任意の値を許可するビットを立てたワイルドカード (192.168.0.10/24 の場合 0.0.0.255 となる)
param.filter_pkt	object[]	不可 (pkt)	パケットフィルタ情報
param.filter_pkt[n].sequenceNo	number	不可	フィルタ条件の適用順序。 [1-4294967294](10進数)を指定。
param.filter_pkt[n].action	string	可	フィルタ条件一致時の動作指定 "permit"(アクセス許可)、"deny"(アクセス拒否)
param.filter_pkt[n].upperProtocol	string	可	対象上位プロトコル名 "ip"、"icmp"、"igmp"、"tcp"、"udp"、もしくは 0-255 の数値
param.filter_pkt[n].srcType	string	可	送信元 IP アドレスの指定方法。 "host"、"wildcard"、"any"が指定可能。
param.filter_pkt[n].srcAddr	string	可	送信元 IP アドレス [0.0.0.0-255.255.255.255]
param.filter_pkt[n].srcWildcard	string	可	IPv4 アドレスの中で任意の値を許可するビットを立てたワイルドカード (192.168.0.10/24 の場合 0.0.0.255 となる)
param.filter_pkt[n].srcStartPort	number	可	送信元 Port 番号[0-65535] (10進数)
param.filter_pkt[n].srcEndPort	number	可	送信元 Port 番号レンジ(srcStartPort よりも大きい、[0-65535](10進数))
param.filter_pkt[n].destType	string	可	宛先 IP アドレスの指定方法。"host"、 "wildcard"、"any"が指定可能。
param.filter_pkt[n].destAddr	string	可	宛先 IP アドレス [0.0.0.0-255.255.255.255]
param.filter_pkt[n].destWildcard	string	可	IPv4 アドレスの中で任意の値を許可するビットを立てたワイルドカード

パラメータ	型	省略可否	説明
			(192.168.0.10/24 の場合 0.0.0.255 となる)
param.filter_pkt[n].destStartPort	number	可	宛先 Port 番号[0-65535](10 進数)
param.filter_pkt[n].destEndPort	number	可	宛先 Port 番号レンジ(srcStartPort よりも大きい、[0-65535](10 進数))
param.filter_pkt[n].icmpType	number	可	ICMP type を指定[0-255(10 進数)]
param.filter_pkt[n].icmpCode	number	可	ICMP code を指定[0-255(10 進数)]
param.filter_pkt[n].policyNo	number	可	ポリシーベースルーティングリストの番号[1-256](10 進数)
param.filter_pkt[n].optional	string	可	機器固有の詳細設定を指定 (例: "tos 2 vlan 10")
param.filter_mac	object[]	不可 (mac)	パケットフィルタ情報
param.filter_mac[n].sequenceNo	number	不可	フィルタ条件の適用順序。 [1-4294967294](10 進数)を指定。
param.filter_mac[n].action	string	可	フィルタ条件一致時の動作指定 "permit"(アクセス許可)、"deny"(アクセス拒否)
param.filter_mac[n].srcType	string	可	送信元 MAC アドレスの指定方法。 "host"、"wildcard"、"any"が指定可能。
param.filter_mac[n].srcMAC	string	可	送信元 MAC アドレス[0000.0000.0000-ffff.ffff.ffff(16 進数)]
param.filter_mac[n].srcWildcard	string	可	MAC アドレスの中で任意の値を許可するビットを立てたワイルドカード (0102.03ae.0000~0102.03ae.ffff を対象とする場合には 0000.0000.ffff を指定する)
param.filter_mac[n].destType	string	可	宛先 MAC アドレスの指定方法。 "host"、"wildcard"、"any"が指定可能。 装置によって、追加で以下の指定が可能。 IP8800 : bpdu、cdp、lACP、lldp、oADP、pvst-plus-bpdu、slow-protocol
param.filter_mac[n].destMAC	string	可	宛先 MAC アドレス[0000.0000.0000-ffff.ffff.ffff(16 進数)]
param.filter_mac[n].destWildcard	string	可	MAC アドレスの中で任意の値を許可するビットを立てたワイルドカード (0102.03ae.0000~0102.03ae.ffff を対象とする場合には 0000.0000.ffff を指定する)
param.filter_mac[n].ethernetType	string	可	ethernet タイプ[0x0000-0xffff](16 進数)
param.filter_mac[n].optional	string	可	機器固有の詳細設定を指定 (例: "vlan 10")
param.appIfOperation	string	可	アクセスリストを適用するポート設定の操作を指定する。

パラメータ	型	省略可否	説明
			"Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.applicationInterface	object[]	可	適用対象の IF 情報
param.applicationInterface[n].ifName	string	不可	アクセスリストを適用する IF 名 (例: "gigabitethernet 1/0/1", "vlan 10")
param.applicationInterface[n].direction	string	不可	アクセスリストを適用するパケットの向きを指定する。 "in"(Inbound 方向:受信側)、 "out"(Outbound 方向:送信側)

*1 値のエスケープについて

- 「{[],:=」を値に含む場合には、その文字の左側に「\」を追加してエスケープする。
- 「\」を値に含む場合には「\\」としてエスケープする。
- 「"」を値に含む場合には「\"」としてエスケープする。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "Parameter" パラメータエラー • "Device" 装置設定エラー • "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.8 NAT 設定

ファイアウォールの NAT 設定を行う

- シナリオ名 SettingNATForFW
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vnodeName	string	不可	NAT ルールを作成する対象の仮想 FW 名称(SRX650 の場合には、指定不要)
param.natRuleName	string	不可	設定する NAT ルールのルール名 Forti: [1-35] 文字 SRX: [1-31]文字
param.natMode	string	不可	NAT のタイプを指定する。 "Static", "NAPT"
param.externalInterface	string	不可	NAT の外向きネットワークに接続インタフェースの名前
param.internalInterface	string	不可	NAT の内向きネットワークに接続インタフェースの名前
param.externalIPAddress	string	不可	外向きネットワーク用の IP アドレス
param.internalIPAddress	string	不可 (Static)	NAT 種別が Static の場合に内向きネットワーク用の IP アドレス指定する。
param.naptStartIP	string	不可 (NAPT)	NAT 種別が NAPT の場合対象となる IP アドレステーブルの開始アドレス
param.naptEndIP	string	不可 (NAPT)	NAT 種別が NAPT の場合対象となる IP アドレステーブルの終了アドレス
param.srcPolicyID	number	不可	NAT 変換用のポリシー定義に登録するポリシー ID(INT32)(SRX650 の場合には、指定不要) Forti: 1-2147483647
param.destPolicyID	number	不可	NAT 変換用のポリシー定義に登録するポリシー ID(INT32)(SRX650 の場合には、指定不要) Forti: 1-2147483647
param.deleteExternalIPAddress	string	不可	削除する外向きネットワーク用の IP アドレス
param.externalZone	string	不可	外向きゾーン名 [1-31] 文字
param.internalZone	string	不可	内向きゾーン名 [1-31] 文字

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。

キー	説明
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "Parameter" パラメータエラー • "Device" 装置設定エラー • "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.9 仮想 FW 設定

仮想ファイアウォールの設定を行う

- シナリオ名 SettingVirtualFW
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vNodeName	string	不可	仮想 FW(vNode)の名称 [1-11 文字]

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設

キー	説明
	定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.10 インタフェース設定

インタフェースの設定を行う

- シナリオ名 SettingInterface
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vNodeName	string	不可	仮想 IF を作成する対象の仮想ノード名称 Forti : [1-11 文字] Thuder : [1-14 文字]
param.portId	string	不可	仮想 IF をマッピングする物理 IF 名
param.vifId	string	不可	仮想 IF の識別名を指定する。 IP8800 : 設定する vlan 番号[1-4094] QX : "Vlan-interface"を含む VLAN インタフェース名 その他 : 設定する仮想 IF の識別子
param.vlanId	number	不可	接続する VLAN の VLANID [1-4094] IP8800,QX の場合は、"vifId"を使用するため指定不要
param.description	string	可	設定する記載内容 [1-64 文字]
param.link	string	可	対象の仮想 IF の状態の上書きを行う。 "enable"(有効)、"disable"(無効)

パラメータ	型	省略可否	説明
param.vrfId	number	可	指定がある場合には、VRF との関連付けを行う [2-32]
param.address	string	可	仮想 IF に割り当てる IP アドレス 例) 192.168.0.2
param.subnet	string	可	仮想 IF に割り当てる IP サブネットマスク 例) 255.255.255.0
param.deleteAddress	string	可	仮想 IF から削除する IP アドレス
param.deleteSubnet	string	可	仮想 IF から削除する IP サブネットマスク
param.accessList	string[]	可	アクセスを許可するサービス名 以下のサービスを指定することが可能 auto-ipsec, fgfm, http, https, ping, probe-response, radius-acct, snmp, ssh, telnet

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.11 FW ポリシー設定

ファイアウォールのポリシー設定を行う

- シナリオ名 SettingPolicyForFW
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vnodeName	string	不可	ポリシーを作成する対象の仮想 FW 名称 Forti : [1-11 文字]
param.address_member_data	object[]	可	アドレス情報
param.address_member_data[n].address_member_id	string	不可	アドレス情報を識別するための ID(システム一意) ※1 Forti: [1-63] 文字 SRX:[1-63]文字
param.address_member_data[n].address	string	不可	アドレス情報に登録する IP アドレス
param.address_member_data[n].subnet	string	不可	アドレス情報に登録するネットワークのサブネットマスク
param.address_member_data[n].interface	string	可	対象アドレスを利用するインターフェース名
param.address_groups	object[]	可	アドレスグループ情報
param.address_groups[n].address_group_id	string	不可	アドレスグループ情報を識別するための ID(システム一意) Forti: [1-63] 文字 SRX:[1-63]文字
param.address_groups[n].address_member_list	string[]	不可	アドレスグループに登録するアドレス情報 ID(※1 で指定した値)
param.services	object[]	可	サービス情報
param.services[n].fwl_service_id	string	不可	サービス情報を識別するための ID(システム一意) ※2 Forti: [1-63] 文字 SRX:[1-63]文字
param.services[n].protocol	string	不可	サービス情報に登録するプロトコル種別を指定する。 "TCP","UDP","ICMP"
param.services[n].service_type	string	可	サービスオブジェクトのタイプ 省略時には Uncategorised となる。
param.services[n].originating_port_start	number	可(TCP/UDP)	送信元ポート番号の下限値 [0-65535]
param.services[n].originating_port_end	number	可(TCP/UDP)	送信元ポート番号の上限値 [0-65535]
param.services[n].delivery_port_start	number	不可(TCP/UDP)	送信先ポート番号の下限値 [0-65535]

パラメータ	型	省略可否	説明
param.services[n].delivery_port_end	number	不可 (TCP/ UDP)	送信先ポート番号の上限値 [0-65535]
param.services[n].icmpType	number	可 (ICMP)	ICMP タイプ [0-255]
param.services[n].icmpCode	number	可 (ICMP)	ICMP コード [0-255]
param.policies	object[]	可	ポリシー情報
param.policies[n].policy_id	string	不可	ポリシー情報を識別するための ID(システム一意) Forti: 1-2147483647 SRX:[1-63]文字
param.policies[n].originating_address	string[]	不可	送信元の IP アドレス
param.policies[n].delivery_address	string[]	不可	宛先の IP アドレス
param.policies[n].originating_interface	string	不可	入力元の仮想 IF 名 or ゾーン名 (装置のデフォルト値もしくは作成した仮想 IF 名)
param.policies[n].delivery_interface	string	不可	出力先の仮想 IF 名 or ゾーン名 (装置のデフォルト値もしくは作成した仮想 IF 名)
param.policies[n].device_type	string	不可	ポリシーの適用種別を設定 "allow"(許可), "deny"(禁止), "reject"(SRX:拒否)
param.policies[n].fwl_service_id_data	string[]	不可	ポリシーに適用するサービス ID (装置側が用意しているプロトコルもしくは※2で指定した値) Forti: [1-63] 文字 SRX:[1-63]文字

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。

キー	説明
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.12 仮想 LB 設定

仮想ロードバランサの設定を行う

- シナリオ名 SettingVirtualLB
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vnodeName	string	不可	作成するパーティション名 [1-14 文字]
param.maxAflexFile	number	可	パーティションで保持できる aFlex 最大値[1-128] 省略時には 32 となる。
param.systemResourceTemplate	string	可	システムリソーステンプレート名

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。

キー	説明
	"status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.13 仮想 LB ポリシー設定

仮想ロードバランサのポリシー設定を行う

- シナリオ名 SettingPolicyForLB
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vnodeName	string	不可	対象のパーティション名 [1-14 文字]
param.Pool	object[]	可	Pool 情報
param.Pool[n].name	string	不可	Pool 情報を識別する名称 ※ 1 [1-31 文字]
param.Pool[n].class	string	可	クラス名を指定する。 "TCP"、"UDP" 省略時には TCP となる。
param.Pool[n].lb_method	string	不可	負荷分散方式 (e.g: "round-robin", "service-least-connection",etc)
param.Pool[n].monitor_name	string	可	Pool に関連付けるモニター名 (※ 2 で 指定した名称) [1-31 文字]
param.Pool[n].serverPortTemplate	string	可	設定するサーバポートテンプレート名
param.Pool[n].memberOperation	string	不可	メンバーの操作タイプを指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操 作なし)
param.Pool[n].member	object[]	可	メンバー情報
param.Pool[n].member[n].name	string	不可	実サーバ情報を識別する名称 [1-31 文 字]
param.Pool[n].member[n].port	number	不可	サーバポート番号
param.Vip	object[]	可	仮想サーバ情報
param.Vip[n].name	string	不可	仮想サーバ情報を識別する名称 [1-31 文字]
param.Vip[n].address	string	不可	仮想サーバの IP アドレス
param.Vip[n].portOperation	string	不可	ポートの操作タイプを指定する。

パラメータ	型	省略可否	説明
			"Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.Vip[n].port	object[]	可	ポート情報
param.Vip[n].port[n].number	number	不可	仮想サーバポート番号 [0-65534]
param.Vip[n].port[n].protocol	string	不可	仮想サーバで管理するプロトコル "TCP"、"UDP"、"HTTP"、"HTTPS"
param.Vip[n].port[n].connection_limit	number	可	仮想サーバで許可するセッション最大数 [0-8000000]
param.Vip[n].port[n].pool_name	string	可	仮想サーバに割り当てるプール名 (※1で指定した名称) [1-31文字]
param.Vip[n].port[n].tcp_template	string	可	TCP テンプレート名
param.Vip[n].port[n].udp_template	string	可	UDP テンプレート名
param.Vip[n].port[n].http_template	string	可	HTTP テンプレート名
param.Vip[n].port[n].tcp_proxy_template	string	可	TCP プロキシテンプレート名
param.Vip[n].port[n].source_ip_persist_template	string	可	ソース IP パーシステンステンプレート名
param.Vip[n].port[n].cookie_persist_template	string	可	Cookie パーシステンステンプレート名
param.Vip[n].port[n].ssl_client_template	string	可	SSL クライアントテンプレート名
param.Vip[n].port[n].aflex	string[]	可	aflex 名
param.Server	object[]	可	実サーバ情報
param.Server[n].name	string	不可	実サーバ情報を識別する名称 [1-31文字]
param.Server[n].address	string	不可	実サーバの IP アドレス
param.Server[n].portOperation	string	不可	ポートの操作タイプを指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.Server[n].port	object[]	可	サーバポート情報
param.Server[n].port[n].number	number	不可	実サーバにアクセスするためのポート番号 [0-65534]
param.Server[n].port[n].protocol	string	可	実サーバにアクセスするためのポートプロトコル ("TCP"、"UDP") 省略時には TCP となる。
param.Server[n].port[n].weight	number	可	実サーバ間での重み付け(数値指定) [1-100]
param.Server[n].port[n].monitor_name	string	可	関連付けるモニター名
param.Server[n].port[n].connection_limit	number	可	実サーバのアクセス用セッション最大数
param.Monitor	object[]	可	モニター情報
param.Monitor[n].name	string	不可	モニター情報を識別するための名称 ※2 [1-31文字]
param.Monitor[n].delay	number	不可	状態検証送信間隔(秒単位) [1-180]

パラメータ	型	省略可否	説明
param.Monitor[n].max_retry	number	不可	状態検証最大再送回数 [1-5]
param.Monitor[n].up_retry	number	不可	連続成功回数
param.Monitor[n].timeout	number	不可	状態検証タイムアウト(秒単位) [1-180]
param.Monitor[n].type	string	不可	状態検証に使用するプロトコル:"PING"、"TCP"、"HTTP"、"HTTPS"
param.Monitor[n].expected_code	string	不可 (HTTP/ HTTPS)	状態検証における健全性を判断するための応答時の HTTP ステータスコード [1-999] Thunder:<例> "100,200-300" ※ 複数指定(カンマ区切り)、範囲指定(xx-xx)が可能 HTTP ステータスコードに「,」を含む場合には、「\\,」としてエスケープする。
param.Monitor[n].method	string	可 (HTTP/ HTTPS)	状態検証要求時に使用する HTTP メソッド:"GET"、"HEAD" 省略時には GET となる。
param.Monitor[n].url_path	string	不可 (HTTP/ HTTPS)	状態検証要求時に使用する HTTP パス
param.Monitor[n].tcp_port	number	不可 (TCP)	状態検証プロトコルとして"TCP"を指定した場合のポート番号 [0-65534]
param.Template	object	可	テンプレート情報
param.Template[n].server_port_template	object[]	可	サーバポートテンプレート情報
param.Template[n].server_port_template[n].name	string	不可	サーバポートテンプレート名
param.Template[n].server_port_template[n].slow_start_mode	string	不可	スロースタートの有効/無効を指定する。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.Template[n].tcp_proxy_template	object[]	可	TCP プロキシテンプレート情報
param.Template[n].tcp_proxy_template[n].name	string	不可	TCP プロキシテンプレート名
param.Template[n].tcp_proxy_template[n].timeout	number	不可	アイドルタイムアウト (秒)
param.Template[n].tcp_proxy_template[n].reset_send_server	string	不可	リセット送信 (サーバ) の有効/無効を指定する。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.Template[n].tcp_proxy_template[n].reset_send_client	string	不可	リセット送信 (クライアント) の有効/無効を指定する。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.Template[n].http_template	object[]	可	HTTP テンプレート情報
param.Template[n].http_template[n].name	string	不可	HTTP テンプレート名
param.Template[n].http_template[n].failover_url	string	可	フェールオーバー URL
param.Template[n].tcp_template	object[]	可	TCP テンプレート情報)

パラメータ	型	省略可否	説明
param.Template[n].tcp_template[n].name	string	不可	TCP テンプレート名
param.Template[n].tcp_template[n].timeout	number	不可	アイドルタイムアウト (秒)
param.Template[n].tcp_template[n].reset_send_server	string	不可	リセット送信 (サーバ) の有効/無効を指定する。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.Template[n].tcp_template[n].reset_send_client	string	不可	リセット送信 (クライアント) の有効/無効を指定する。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.Template[n].udp_template	object[]	可	UDP テンプレート情報
param.Template[n].udp_template[n].name	string	不可	UDP テンプレート名
param.Template[n].udp_template[n].timeout	number	不可	アイドルタイムアウト (秒)
param.Template[n].source_ip_persist_template	object[]	可	ソース IP パーシステンステンプレート情報
param.Template[n].source_ip_persist_template[n].name	string	不可	ソース IP パーシステンステンプレート名
param.Template[n].source_ip_persist_template[n].timeout	number	不可	アイドルタイムアウト (分)
param.Template[n].cookie_persist_template	object[]	可	Cookie パーシステンステンプレート情報
param.Template[n].cookie_persist_template[n].name	string	不可	Cookie パーシステンステンプレート名
param.Template[n].cookie_persist_template[n].expire	number	不可	有効期限 (秒)
param.Template[n].cookie_persist_template[n].cookie_name	string	不可	cookie 名
param.Template[n].cookie_persist_template[n].insert_mode	string	不可	常に挿入するの有効/無効を指定する。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.Template[n].cookie_persist_template[n].ignore_connection_rule	string	不可	接続ルールを無視するの有効/無効を指定する。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.Aflex	object[]	可	Aflex
param.Aflex[n].name	string	不可	Aflex 名
param.Aflex[n].script	string[]	不可	スクリプトの 1 行を一つの要素として設定する*1

*1 値のエスケープについて

- 「{[,:=」を値に含む場合には、その文字の左側に「\」を追加してエスケープする。
- 「\」を値に含む場合には「\\」としてエスケープする。
- 「"」を値に含む場合には「\"」としてエスケープする。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.14 VRF 設定

スイッチの VRF (Virtual Routing and Forwarding) 設定を行う

- シナリオ名 SettingVRF
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vnodeName	string	不可	VRF を識別するための ID 番号 [2-32] or global
param.maxRoute	number	可	VRF に割り当てる最大経路数 [1~4294967295]
param.thresholdRoute	number	可	警告の運用メッセージを出力する経路数の最大経路数に対する割合 (%) [1~100]
param.arpLimit	number	可	VRF で管理する arp の上限値

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.15 VRRP 設定

仮想ロードバランサの VRRP (Virtual Router Redundancy Protocol) 設定を行う

- シナリオ名 SettingVRRP
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vnodeName	string	不可	対象のパーティション名 [1-14 文字]
param.vrrp	object[]	可	VRRP 構成情報
param.vrrp[n].vrrpName	string	不可	VRRP 構成の名称 (vrid {[1-7] "default"})
param.vrrp[n].priority	number	可	VRRP の優先順位 [0-255] "priority"に 0 を指定した場合には、設定を削除する。
param.vrrp[n].preemptMode	string	可	プリエンプト設定の有効/無効

パラメータ	型	省略可否	説明
			"enable"(有効)、"disable"(無効)
param.vrrp[n].floatingIp	string[]	可	フローティング IP
param.vrrp[n].floatingIpOperation	string	不可	フローティング IP の操作タイプを指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.vrrp[n].failOverPolicyTemplate	string	可	VRRP に割り当てられる Fail Over Policy Template 名
param.vrrp[n].deleteFailOverPolicyTemplate	string	可	VRRP から削除する Fail Over Policy Template 名
param.failOverPolicyTemplate	object[]	可	Fail Over Policy Template 構成情報
param.failOverPolicyTemplate[n].name	string	不可	Fail Over Policy Template 名
param.failOverPolicyTemplate[n].interface	object[]	可	Fail Over Policy Template のインタフェース情報
param.failOverPolicyTemplate[n].interface[n].name	string	不可	インタフェース名 (e.g: "ethernet 3")
param.failOverPolicyTemplate[n].interface[n].weight	number	可	重み
param.failOverPolicyTemplate[n].interfaceOperation	string	不可	インタフェースの操作タイプを指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.16 ゾーン設定

ファイアウォールのゾーン設定を行う

- シナリオ名 SettingZone
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vnodeName	string	不可	対象の vNode 名 [1-11 文字]
param.zoneName	string	不可	設定するゾーン名
param.interfaceOperation	string	不可	インタフェースの操作タイプを指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.interfaces	string[]	可	インタフェース名
param.intrazone	string	可	同じゾーンで異なるインタフェースの間のルーティングを許すかの指定 "allow","deny" 省略時は deny となる。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。

キー	説明
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.17 FlowFilter 設定

PFC のフローフィルタ設定を行う

- シナリオ名 SettingFlowFilter
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.vtnName	string	不可	VTN 名
param.filterMode	string	不可	FlowFilter の設定箇所を指定する。 "VTN","vBridge","vBridgeIF","vRouterIF"
param.vnodeName	string	可	対象の vNode 名 [1-31 文字]
param.vinterface	string	可	対象の仮想 IF 名 [1-31 文字]
param.direction	string	不可	FlowFilter の適用方向を指定する。 "in", "out" "filterMode"="vBridge" の場合には "in" しか指定できない。
param.filterOperation	string	不可	適用する FlowFilter 定義の操作を指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.filterEntry	object[]	可	FlowFilter の一覧
param.filterEntry[n].sequenceNumber	number	不可	FlowFilter のシーケンス番号 [1-65535]
param.filterEntry[n].flowListName	string	不可	FlowFilter を適用する FlowList の名称 [1-32 文字]
param.filterEntry[n].action	string	不可	FlowList にマッチした場合の動作を指定する。 "pass", "drop", "redirect"
param.filterEntry[n].networkMonitor	string	可	監視対象のネットワークモニタ名 [1-31 文字]
param.filterEntry[n].priority	number	可	適用優先度 [0-7]
param.filterEntry[n].dscp	number	可	DSCP 値 [0-63]
param.filterEntry[n].redirect_vnodeName	string	不可 (redirect)	redirect 先の vNode 名 [1-31 文字]

パラメータ	型	省略可否	説明
param.filterEntry[n].redirect_vInterface	string	不可 (redirect)	redirect 先の仮想 IF 名[1-31 文字]
param.filterEntry[n].redirect_srcMac	string	可	redirect 後に書き換える送信元 MAC アドレス
param.filterEntry[n].redirect_destMac	string	可	redirect 後に書き換える宛先 MAC アドレス

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.18 FlowList 設定

PFC のフローリスト設定を行う

- シナリオ名 SettingFlowList
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。

パラメータ	型	省略可否	説明
param.flowListName	string	不可	設定する FlowList の名称[1-32 文字]
param.restrict	string[]	可	FlowList の制限条件として設定する内容を羅列する。 "srcmac","dstmac","srcip","dstip","ipproto","srcport","dstport"
param.entryOperation	string	可	適用する FlowList 定義の操作を指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.listEntry	object[]	可	FlowList のエントリー一覧
param.listEntry[n].sequenceNumber	number	不可	FlowList エントリのシーケンス番号 [1-65535]
param.listEntry[n].srcMac	string	可	送信元 MAC アドレスを "hhhh.hhhh.hhhh"形式で指定
param.listEntry[n].destMac	string	可	宛先 MAC アドレスを"hhhh.hhhh.hhhh"形式で指定
param.listEntry[n].etherType	string	可	Ether タイプを"0x0000~0xffff"で指定
param.listEntry[n].srcIPAddress	string	可	送信元 IP アドレスを指定
param.listEntry[n].srcIPPrefix	number	可	送信元 IP アドレスのプレフィックス値を "1~32"の値で指定
param.listEntry[n].destIPAddress	string	可	宛先 IP アドレスを指定
param.listEntry[n].destIPPrefix	number	可	宛先 IP アドレスのプレフィックス値を "1~32"の値で指定
param.listEntry[n].dscp	number	可	DSCP 値を "0~63"の値で指定
param.listEntry[n].protocol	number	可	IP プロトコルのプロトコル ID を"1~255"で指定
param.listEntry[n].srcPortNumber	number	可	送信元ポート番号を"0~65535"で指定 範囲指定を行う際には、"開始ポート番号"として指定する。
param.listEntry[n].srcPortNumberEnd	number	可	送信元ポート番号を"1~65535"で指定 範囲指定を行う際の終端ポート番号として指定する。
param.listEntry[n].destPortNumber	number	可	宛先ポート番号を"0~65535"で指定 範囲指定を行う際には、"開始ポート番号"として指定する。
param.listEntry[n].destPortNumberEnd	number	可	宛先ポート番号を"1~65535"で指定 範囲指定を行う際の終端ポート番号として指定する。
param.listEntry[n].icmpType	number	可	icmp タイプを"0~255"で指定
param.listEntry[n].icmpCode	number	可	icmp コードを"0~255"で指定

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "Parameter" パラメータエラー • "Device" 装置設定エラー • "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.19 storm 設定

スイッチのストーム制御設定を行う

- シナリオ名 SettingStorm
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.portName	string	不可	設定を行う物理ポートの名称
param.packetType	string	可	storm 監視の対象となるパケットの種類 "broadcast","multicast","unicast" "operation-type"="Create", "opretation-type"="Delete"の場合には必ず指定が必要
param.stormPPS	number	可	storm 発生と判断する流量を PPS 値で指定する。 "packetType"に値がある場合には指定が必須

パラメータ	型	省略可否	説明
param.recoverPPS	number	可	storm 状態から復旧したと判断する流量を PPS 値で指定する。 省略時は、"stormPPS"と同じ値とする。 PF5248 では指定不可
param.action	string	可	storm 発生時の動作 SNMP トラップ発行の設定 "block","shutdown" "block"を指定した場合には、storm 中に受信したパケットを drop する。 "shutdown"を指定した場合には、storm を検出したポートを shutdown(inactive)にする。 "operation_type"="Create"時に省略された場合は、"shutdown"となる。
param.trap	string	可	SNMP トラップ発行の設定 "enable","disable" "enable" が指定された場合には、storm 検出時、storm 復旧時に SNMP トラップを発行する。 "operation_type"="Create"時に省略された場合"disable"となる。
param.log	string	可	system log 出力の設定 "enable","disable" "enable" が指定された場合には、storm 検出時、storm 復旧時に system log を出力する。 "operation_type"="Create"時に省略された場合"disable"となる。
param.time	number	可	storm 検出間隔 省略時は 10 秒 PF5248 では指定不可

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "Parameter" パラメータエラー • "Device" 装置設定エラー • "Internal" その他内部エラー

キー	説明
	"status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.3.20 LinkAggrigation 設定

スイッチのリンクアグリゲーション設定を行う

- シナリオ名 SettingLAG
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
param	object	不可	
param.operation_type	string	不可	操作タイプを指定する。 "Create"(作成)、"Update"(更新)、 "Delete"(削除)
param.nodeName	string	不可	設定を行う装置のノード名。管理サーバにて装置を登録した際のノード名を指定する。
param.id	number	不可	LAG のグループ ID[1-128]
param.lagMode	string	可	LAG の動作するモードを指定する。 "dynamic","static"
param.loadSharingMode	string	可	LAG の分散方式を指定する。 "destination-ip", "destination-mac", "source-ip", "source-mac"
param.vlanOperation	string	不可	LAG に設定される VLAN の操作を指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.vlan	number[]	可	設定する vlan 番号[1-4094] 下記の形式で記載することで範囲指定を可能とする。 "開始 VLANID-終了 VLANID"
param.nativeVLAN	number	可	対象ポートからの出力パケットに設定するポート vlan の番号[0-4094] 0 の場合には、ポート VLAN による VLAN-ID の付加を行わない。
param.description	string	可	設定する記載内容[1~64 文字]
param.vlanMode	string	不可	VLAN モードを指定する。 "access_mode"(access モード)、 "trunk_mode"(trunk モード)

パラメータ	型	省略可否	説明
param.link	string	可	"id"に指定した LAG の状態の変更を行う。 "enable"(有効)、"disable"(無効)
param.interfaceOperation	string	不可	LAG を構成する物理ポートの操作を指定する。 "Add"(追加)、"Delete"(削除)、"None"(操作なし)
param.interfaces	object[]	可	LAG に登録するインタフェース一覧
param.interfaces[n].name	string	不可	LAG のグループに登録する物理 IF 名
param.interfaces[n].priority	number	可	LAG のポート選択時のプライオリティ [0-65535]

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。本シナリオで返却されるパラメータは下記の通り。
resultdata.errorType	エラー種別。以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "Parameter" パラメータエラー "Device" 装置設定エラー "Internal" その他内部エラー "status"が"FAILED"の場合に設定される。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.errorDetail	"status"が"FAILED"の場合に設定されるエラー種別毎のエラー詳細情報。 "status"が"RUNNING"の場合には不定値となる。
resultdata.param	内部処理で利用する JSON パラメータ

2.4 データセンター向けシナリオ

データセンター向けシナリオはシナリオ実行 API により、ワークフロー内で処理が行われます。Network Automation に予め同梱されているは下記の通りです。

各シナリオの詳細については『Network Automation ワークフローテンプレートリファレンス』を参照してください。

シナリオ名	概要
Automation\Automatic\Network\CreateTenantFW	テナント FW 作成

シナリオ名	概要
Automation\Automatic\Network\CreateTenantLB	テナント LB 作成
Automation\Automatic\Network\CreateTenantNW	テナント NW 作成
Automation\Automatic\Network\CreateVLAN	VLAN 作成
Automation\Automatic\Network\DeleteSSL-VPN	SSL-VPN 解除
Automation\Automatic\Network\DeleteTenantFW	テナント FW 削除
Automation\Automatic\Network\DeleteTenantLB	テナント LB 削除
Automation\Automatic\Network\DeleteTenantNW	テナント NW 削除
Automation\Automatic\Network\DeleteVLAN	VLAN 削除
Automation\Automatic\Network\SettingSSL-VPN	SSL-VPN 設定
Automation\Automatic\Network\UpdateTenantFW	テナント FW 更新
Automation\Automatic\Network\UpdateTenantLB	テナント LB 更新

以下では各シナリオについて説明します。

2.4.1 テナント NW 作成

一テナントに対して事業者管理 LAN、テナント管理 LAN、テナント FW を作成する。

- シナリオ名 CreateTenantNW
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	TenantNW を指定
DCResourceOperation	string	不可	Create を指定
GroupInfoList	object[]	不可	
GroupInfoList[n].Name	string	不可	リソースグループ名 or DC リソース管理グループ名のフルパス
VlanInfoList	object[]	不可	
VlanInfoList[n].Type	string	不可	以下のパラメータが入力可能 <ul style="list-style-type: none"> ManagementVLAN: 事業者管理 VLAN TenantVLAN: テナント管理 VLAN
DeviceInfo	object	可	
DeviceInfo.Type	string	不可	TFW のみ指定可能です。指定を省略した場合は、TFW が払い出されません。*1
DeviceInfo.DeviceName	string	可	Type で指定したリソースの作成に利用する NW 機器名を明示する場合に指定してください。
TagInfo	object[]	可	
TagInfo[n].ResourceTags	object[]	可	

パラメータ	型	省略可否	説明
TagInfo[n].ResourceTags[m].Key	string	不可	キー名
TagInfo[n].ResourceTags[m].Value	string	不可	値
TagInfo[n].ResourceTags[m].Type	string	可	リソースグループを自動で選択する際に、タグを適用するタイプを指定する。指定できるタイプについては「 2.4.17 タグ指定種別 (94 ページ) 」を参照してください。 既定値は、"extend"

*1 自動選択した場合、BFW とテナント FW の両方が存在する管理グループが選択されます。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "NOTFOUND" 実行されていない • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。テナント NW 作成時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.ManagementLogicalNWName	事業者管理 LAN の論理 NW 名
resultdata.ManagementVlanIPSubnet	事業者管理 LAN のサブネット
resultdata.ManagementVlanSubnetMask	事業者管理 LAN のサブネットマスク
resultdata.ManagementVlanFwIpAddress	事業者管理 LAN のテナント FW 側の IP アドレス
resultdata.ManagementVlanID	払い出した事業者管理 VLAN の VLANID
resultdata.TenantLogicalNWName	テナント管理 LAN の論理 NW 名
resultdata.TenantVlanIPSubnet	テナント管理 LAN のサブネット
resultdata.TenantVlanSubnetMask	テナント管理 LAN のサブネットマスク
resultdata.TenantVlanFwIpAddress	テナント管理 LAN のテナント FW 側の IP アドレス
resultdata.TenantVlanID	払い出したテナント管理 VLAN の VLANID
resultdata.TenantFWInfo	テナント FW を作成した NW 機器名
resultdata.TenantFWName	払い出した論理テナント FW 名
resultdata.BackEndFWInfo	BackEndFW を作成した NW 機器名
resultdata.BackEndFWVirtualName	設定先の BFW 用 VDOM 名

キー	説明
resultdata.BackEndFWVirtualNode	設定先の BFW 用 VDOM を一意に識別する情報 (NW 機器名/VDOM 名の形式)
resultdata.ResourceGroupName	BFW を払い出したリソース管理グループ名

2.4.2 テナント NW 削除

テナント NW の削除を行う。

- シナリオ名 DeleteTenantNW
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID*1
DCResourceType	string	不可	TenantNW を指定
DCResourceOperation	string	不可	Delete を指定

*1 下記のもので払い出されているテナントは削除できません。

テナント FW：ポリシー等の設定が残っている場合、対象のテナント FW が削除されません。

テナント LB：テナント削除の実行に失敗します。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "NOTFOUND" 実行されていない "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。

2.4.3 テナント FW 作成

テナントが利用するファイアウォールの払い出しを行います。

- シナリオ名 CreateTenantFW
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	TFW を指定
DCResourceOperation	string	不可	Create を指定
GroupInfoList	object[]	可	
GroupInfoList[n].Name	string	不可	リソースグループ名 or DC リソース管理グループ名のフルパス
VlanInfoList	object[]	不可	
VlanInfoList[n].Type	string	不可	以下のパラメータが入力可能 <ul style="list-style-type: none"> • BusinessVLAN: 業務 VLAN • PublicVLAN: パブリック VLAN • WANServiceVLAN: WAN *1*2
VlanInfoList[n].LogicalName	string	不可	TFW に接続する論理 NW 名を指定
DeviceInfo	object	不可	
DeviceInfo[n].Type	string	不可	TFW のみ指定可能です。
DeviceInfo[n].DeviceName	string[]	可	Type で指定したリソースの作成に利用する NW 機器名を明示する場合に指定してください。*2
TagInfo	object[]	可	
TagInfo[n].ResourceTags	object[]	可	
TagInfo[n].ResourceTags[m].Key	string	不可	キー名
TagInfo[n].ResourceTags[m].Value	string	不可	値
TagInfo[n].ResourceTags[m].Type	string	可	リソースグループを自動で選択する際に、タグを適用するタイプを指定する。指定できるタイプについては「 2.4.17 タグ指定種別 (94 ページ) 」を参照してください。 既定値は、"extend"

*1 指定がなくてもテナント管理 VLAN が自動的に接続されます。

*2 同一の機器を使用して、同一の論理ネットワークに接続するテナント FW を複数払い出すことはできません。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "NOTFOUND" 実行されていない • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了

キー	説明
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。テナントFW作成時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.TenantFWInfo	払い出したテナントFW機器名
resultdata.LogicalNWName	テナントFWに設定されている全VLANの論理NW名*1
resultdata.VlanID	テナントFWに設定されている全VLANのVLAN-ID*1
resultdata.FwIpAddressList	テナントFWに設定されている全VLANのIPアドレス一覧
resultdata.TenantFWName	払い出した論理テナントFW名
resultdata.ResourceGroupName	リソースを払い出したリソース管理グループ名
resultdata.FWFIPAddressList	テナントFWに設定されているIPアドレス一覧。 非クラスタ構成の場合、装置に設定されたIPアドレス。 クラスタ構成の場合、クラスタに設定されたフローティングIPアドレス。

*1 LogicalNWName に表示される論理NW名と同じ順序で論理NW名毎のIPアドレスも表示されます。テナント管理VLANの情報も含まれます。

2.4.4 テナントFW更新

払い出し済みのテナントFWに対して、指定VLANの接続・切断を行う。

- シナリオ名 UpdateTenantFW
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナントID
DCResourceType	string	不可	TFWを指定
DCResourceOperation	string	不可	Updateを指定
VlanInfoList	object[]	不可	
VlanInfoList[n].Type	string	不可	以下のパラメータが入力可能 <ul style="list-style-type: none"> BusinessVLAN: 業務VLAN PublicVLAN: パブリックVLAN WANServiceVLAN: WAN *1
VlanInfoList[n].LogicalName	string	不可	TFWに接続・切断する対象の論理NW名を指定

パラメータ	型	省略可否	説明
VlanInfoList[n].ConnectDevice	string	可	以下のパラメータが入力可能 <ul style="list-style-type: none"> • connect: TFW へ接続する • disconnect: TFW へ接続しない 省略した場合、 VlanInfoList.LogicalName で指定した論理 NW 名が既に接続済みの場合は disconnect が選択されます。 VlanInfoList.LogicalName で指定した論理 NW 名が未接続の場合は connect が選択されます。
DeviceInfo	object	不可	
DeviceInfo.Type	string	不可	TFW のみ指定可能です。
DeviceInfo.DeviceName	string[]	不可	指定した VLAN の接続・切断対象となる論理テナント FW 名 ^{*1}

*1 同一の機器を使用して、同一の論理ネットワークに接続するテナント FW を複数払い出すことはできません。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "NOTFOUND" 実行されていない • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。テナント FW 更新時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.TenantFWInfo	払い出したテナント FW 機器名
resultdata.ResourceGroupName	リソースを払い出したリソース管理グループ名
resultdata.LogicalNWName	テナント FW に接続した全 VLAN の論理 NW 名
resultdata.VlanID	テナント FW に接続した全 VLAN の VLAN-ID
resultdata.FwIpAddressList	テナント FW に接続した全 VLAN の IP アドレス一覧 ^{*1}
resultdata.FWFIPAddressList	テナント FW に接続した IP アドレス一覧。 非クラスタ構成の場合、装置に設定された IP アドレス。 クラスタ構成の場合、クラスタに設定されたフローティング IP アドレス。
resultdata.LogicalNWName_Del	テナント FW から切断された全 VLAN の論理 NW 名

キー	説明
resultdata.VlanID_Del	テナント FW から切断された全 VLAN の VLAN-ID
resultdata.TenantFWName	払い出した論理テナント FW 名

*1 LogicalNWName に表示される論理 NW 名と同じ順序で論理 NW 名毎の IP アドレスも表示されます。

2.4.5 テナント FW 削除

テナント FW の削除を行う。

- シナリオ名 DeleteTenantFW
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	TFW を指定
DCResourceOperation	string	不可	Delete を指定
DeviceInfo	string	不可	
DeviceInfo[n].Type	string	不可	TFW を指定
DeviceInfo[n].DeviceName	string	不可	削除対象の論理テナント FW 名

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "NOTFOUND" 実行されていない "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。

2.4.6 テナント LB 作成

テナント LB を作成する。

- シナリオ名 CreateTenantLB
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	LB を指定
DCResourceOperation	string	不可	Create を指定
GroupInfoList	object[]	可	
GroupInfoList[n].Name	string	不可	リソースグループ名 or DC リソース管理グループ名のフルパス
VlanInfoList	object[]	不可	
VlanInfoList[n].Type	string	不可	以下のパラメータが入力可能 • BusinessVLAN: 業務 VLAN *1*2
VlanInfoList[n].LogicalName	string	不可	LB に接続する論理 NW 名を指定
DeviceInfo	object	不可	
DeviceInfo.Type	string	不可	以下のパラメータが入力可能 • LB: LB が単独装置の場合 • ClusterG: LB がクラスタ構成の場合 *1*2
DeviceInfo.DeviceName	string	可	Type で指定したリソースの作成に利用する NW 機器名を明示する場合に指定してください。*2
TagInfo	object[]	可	
TagInfo[n].ResourceTags	object[]	可	
TagInfo[n].ResourceTags[m].Key	string	不可	キー名
TagInfo[n].ResourceTags[m].Value	string	不可	値
TagInfo[n].ResourceTags[m].Type	string	可	リソースグループを自動で選択する際に、タグを適用するタイプを指定する。指定できるタイプについては「 2.4.17 タグ指定種別 (94 ページ) 」を参照してください。 既定値は、"extend"

*1 指定がなくてもテナント管理 VLAN が自動的に接続されます。

*2 同一の機器を使用して、同一の論理ネットワークに接続するテナント LB を複数払い出すことはできません。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 • "NOTFOUND" 実行されていない • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了

キー	説明
	• "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。テナント LB 作成時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.TenantLBInfo	払い出した論理テナント LB 名
resultdata.LogicalNWName	テナント LB に設定されている全 VLAN の論理 NW 名 ^{*1}
resultdata.VlanID	テナント LB に設定されている全 VLAN の VLAN-ID ^{*1}
resultdata.LbIpAddressList	テナント LB に設定されている全 VLAN の IP アドレス一覧
resultdata.TenantLBDeviceName	払い出したテナント LB 機器名
resultdata.TenantLBClusterGroupName	払い出したテナント LB のクラスタグループ名 クラスタグループが組みされていない場合、空となる。
resultdata.ResourceGroupName	リソースを払い出したリソース管理グループ名
resultdata.LbFIPAddressList	テナント LB に設定されている IP アドレス一覧。 非クラスタ構成の場合、装置に設定された IP アドレス。 クラスタ構成の場合、クラスタに設定されたフローティング IP アドレス。

*1 LogicalNWName に表示される論理 NW 名と同じ順序で論理 NW 名毎の IP アドレスも表示されます。テナント管理 VLAN の情報も含まれます。

2.4.7 テナント LB 更新

払い出し済みのテナント LB に対して、指定 VLAN の接続・切断を行う。

- シナリオ名 UpdateTenantLB
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	LB を指定
DCResourceOperation	string	不可	Update を指定
VlanInfoList	object[]	不可	
VlanInfoList[n].Type	string	不可	以下のパラメータが入力可能 • BusinessVLAN: 業務 VLAN ^{*1}

パラメータ	型	省略可否	説明
VlanInfoList[n].LogicalName	string	不可	LB に接続・切断する対象の論理 NW 名を指定
VlanInfoList[n].ConnectDevice	string	可	以下のパラメータが入力可能 <ul style="list-style-type: none"> • connect: LB へ接続する • disconnect: LB へ接続しない 省略した場合、VlanInfoList.LogicalName で指定した論理 NW 名が既に接続済みの場合は disconnect が選択されます。VlanInfoList.LogicalName で指定した論理 NW 名が未接続の場合は connect が選択されます。
DeviceInfo	object	不可	
DeviceInfo[n].Type	string	不可	LB のみ指定可能です。
DeviceInfo[n].DeviceName	string	可	指定した VLAN の接続・切断対象となる論理テナント LB 名 ^{*1}

*1 同一の機器を使用して、同一の論理ネットワークに接続するテナント LB を複数払い出すことはできません。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "NOTFOUND" 実行されていない • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。テナント LB 更新時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.TenantLBInfo	払い出した論理テナント LB 名
resultdata.TenantLBDeviceName	払い出したテナント LB 機器名
resultdata.ResourceGroupName	リソースを払い出したリソース管理グループ名
resultdata.LogicalNWName	テナント LB に接続した全 VLAN の論理 NW 名
resultdata.VlanID	テナント LB に接続した全 VLAN の VLAN-ID
resultdata.LbIpAddressList	接続した全 VLAN の IP アドレス一覧 ^{*1}
resultdata.LbFIPAddressList	テナント LB に接続した IP アドレス一覧。 非クラスタ構成の場合、装置に設定された IP アドレス。

キー	説明
	クラスタ構成の場合、クラスタに設定されたフローティング IP アドレス。
resultdata.LogicalNWName_Del	テナント LB から切断された全 VLAN の論理 NW 名
resultdata.VlanID_Del	テナント LB から切断された全 VLAN の VLAN-ID

*1 LogicalNWName に表示される論理 NW 名と同じ順序で論理 NW 名毎の IP アドレスも表示されます。

2.4.8 テナント LB 削除

テナント LB の削除を行う。

- シナリオ名 DeleteTenantLB
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	LB を指定
DCResourceOperation	string	不可	Delete を指定
DeviceInfo	object	不可	
DeviceInfo.Type	string	不可	LB を指定
DeviceInfo.DeviceName	string	不可	削除対象の論理テナント LB 名

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "NOTFOUND" 実行されていない "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。

2.4.9 SSL-VPN 設定

SSL-VPN を設定する。

- シナリオ名 SettingSSL-VPN
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	SSL を指定
DCResourceOperation	string	不可	Create を指定
GroupInfoList	object[]	可	
GroupInfoList[n].Name	string	不可	リソースグループ名 or DC リソース管理グループ名のフルパス 省略時はテナント NW 作成時に決められた管理グループ*1
DeviceInfo	object	不可	
DeviceInfo.Type	string	不可	SSL を指定
LocalID	string	可	ローカル認証設定時のアカウント
LocalPW	string	可	ローカル認証設定時のパスワード。 Base64 エンコード後の文字列を格納する
TagInfo	object[]	可	
TagInfo[n].ResourceTags	object[]	可	
TagInfo[n].ResourceTags[m].Key	string	不可	キー名
TagInfo[n].ResourceTags[m].Value	string	不可	値
TagInfo[n].ResourceTags[m].Type	string	可	リソースグループを自動で選択する際に、タグを適用するタイプを指定する。指定できるタイプについては「 2.4.17 タグ指定種別 (94 ページ) 」を参照してください。 既定値は、"extend"

*1 SSL-VPN を使用する場合は、SSL-VPN と同じ管理グループにテナント FW が存在している必要があります。SSL-VPN 作成時は、テナント FW を払い出す、または払い出したリソースグループ/管理グループを指定してください。テナント FW が作成されたリソースグループ/管理グループは、「[2.4.3 テナント FW 作成 \(79 ページ\)](#)」のレスポンスの resultdata.ResourceGroupName を参照してください。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "NOTFOUND" 実行されていない "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了

キー	説明
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。SSL 作成時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.SSLVPNInfo	SSL に設定された IP アドレス
resultdata.SSLVPNDevName	払い出した SSL 機器名
resultdata.SSLVPNVirtualName	設定先の SSL 用 VDOM 名
resultdata.SSLVPNVirtualNode	設定先の SSL 用 VDOM を一意に識別する名前 (NW 機器名/VDOM 名の形式)
resultdata.SSLVPNName	SSL を一意に識別する名前 (管理グループ名/装置名/VDOM 名の形式)
resultdata.SSLVPNAccessInfo	作成された SSL にアクセスするための IP アドレス
resultdata.ResourceGroupName	リソースを払い出したリソース管理グループ名
resultdata.TenantVlanID	払い出したテナント管理 VLAN の VLAN-ID

2.4.10 SSL-VPN 解除

SSL-VPN の設定を削除する。

- シナリオ名 DeleteSSL-VPN
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	SSL を指定
DCResourceOperation	string	不可	Delete を指定
DeviceInfo	object	不可	
DeviceInfo.Type	string	不可	SSL を指定
DeviceInfo.DeviceName	string	可	SSL を一意に識別する名前 TenantID が複数の SSL を利用していた場合は、省略不可

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "NOTFOUND" 実行されていない "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了

キー	説明
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。

2.4.11 業務 VLAN 作成

テナントが利用する業務 VLAN を作成する。

- シナリオ名 CreateVLAN
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	VLAN を指定
DCResourceOperation	string	不可	Create を指定
VlanInfo	object	不可	
VlanInfo.Type	string	不可	BusinessVLAN を指定

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "NOTFOUND" 実行されていない "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。VLAN 作成時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.LogicalNWName	論理 NW 名
resultdata.VlanIPSubnet	VLAN の IP サブネット
resultdata.VlanSubnetMask	VLAN のサブネットマスク
resultdata.ResourceGroupName	リソースを払い出したリソース管理グループ名
resultdata.VlanID	払い出した VLAN の VLAN-ID

2.4.12 業務 VLAN 削除

テナントが利用する業務 VLAN を削除する。

- シナリオ名 DeleteVLAN
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	VLAN を指定
DCResourceOperation	string	不可	Delete を指定
VlanInfo	object	不可	
VlanInfo.Type	string	不可	BusinessVLAN を指定
VlanInfo.LogicalName	string	不可	削除対象の LAN が設定されている論理 NW 名 ^{*1}

*1 テナント FW、テナント LB に接続されている論理 NW は削除できません。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "NOTFOUND" 実行されていない "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。

2.4.13 パブリック VLAN 作成

テナントが利用するパブリック VLAN を作成する。

- シナリオ名 CreateVLAN
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	VLAN を指定
DCResourceOperation	string	不可	Create を指定
VlanInfo	object	不可	
VlanInfo.Type	string	不可	PublicVLAN を指定

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "NOTFOUND" 実行されていない • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。VLAN 作成時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.LogicalNWName	論理 NW 名
resultdata.VlanIPSubnet	VLAN の IP サブネット
resultdata.VlanSubnetMask	VLAN のサブネットマスク
resultdata.ResourceGroupName	リソースを払い出したリソース管理グループ名
resultdata.VlanID	払い出した VLAN の VLAN-ID

2.4.14 パブリック VLAN 削除

テナントが利用するパブリック VLAN を削除する。

- シナリオ名 DeleteVLAN
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	VLAN を指定
DCResourceOperation	string	不可	Delete を指定
VlanInfo	object	不可	
VlanInfo.Type	string	不可	PublicVLAN を指定
VlanInfo.LogicalName	string	不可	削除対象の LAN が設定されている論理 NW 名*1

*1 テナント FW に接続されている論理 NW は削除できません。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "NOTFOUND" 実行されていない • "RUNNING" 実行中

キー	説明
	<ul style="list-style-type: none"> • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。

2.4.15 WAN 作成

テナントが利用する WAN を作成する。

一つのテナントに一つの WAN が作成される。

- シナリオ名 CreateVLAN
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	VLAN を指定
DCResourceOperation	string	不可	Create を指定
VlanInfo	object	不可	
VlanInfo.Type	string	不可	WANServiceVLAN を指定

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> • "NOTFOUND" 実行されていない • "RUNNING" 実行中 • "SUCCEED" 正常終了 • "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。VLAN 作成時に返却される主なパラメータは下記の通り。
resultdata.LogicalNWName	論理 NW 名
resultdata.VlanIPSubnet	VLAN の IP サブネット
resultdata.VlanSubnetMask	VLAN のサブネットマスク
resultdata.ResourceGroupName	リソースを払い出したリソース管理グループ名
resultdata.VlanID	払い出した VLAN の VLAN-ID

2.4.16 WAN 削除

テナントが利用する WAN を削除する。

- シナリオ名 DeleteVLAN
- パラメータ

パラメータ	型	省略可否	説明
TenantID	string	不可	テナント ID
DCResourceType	string	不可	VLAN を指定
DCResourceOperation	string	不可	Delete を指定
VlanInfo	object	不可	
VlanInfo.Type	string	不可	WANServiceVLAN を指定
VlanInfo.LogicalName	string	不可	削除対象の LAN が設定されている論理 NW 名 ^{*1}

*1 テナント FW に接続されている論理 NW は削除できません。

- レスポンス

キー	説明
progress	進捗率を示す 0-100 の数値が格納される。
status	以下の値のいずれかを返す。 <ul style="list-style-type: none"> "NOTFOUND" 実行されていない "RUNNING" 実行中 "SUCCEED" 正常終了 "FAILED" 異常終了
resultdata	ワークフローから返却されたデータ。ワークフロー内のローカルオブジェクト名、値のペアが設定される。実際にどのようなローカルオブジェクト名が設定されるかは各ワークフローの仕様による。

2.4.17 タグ指定種別

以下のシナリオのパラメータに指定できるタグ種別は下記の通りです。

- シナリオ名 CreateTenantNW、CreateTenantFW、CreateTenantLB、SettingSSL-VPN
- パラメータ TagInfo[n].ResourceTags[m].Type

種別	説明
pinpoint	完全一致するタグを持つリソースグループを選択する。
pinpoint.reg	正規表現で一致するタグを持つリソースグループを選択する。
extend	親リソースグループのタグを継承して一致するリソースグループ
extend.reg	親リソースグループのタグを継承して正規表現で一致するリソースグループ

種別	説明
max	指定された数字以下の、数字が設定されたタグを持つリソースグループを選択する。
min	指定された数字以上の、数字が設定されたタグを持つリソースグループを選択する。
near	指定された数字が絶対値として、近い順にリソースグループを選択する。 また、pinpoint と同じでそのグループに指定された数字が有効になります。
far	指定された数字が絶対値として、遠い順にリソースグループを選択する。 また、pinpoint と同じでそのグループに指定された数字が有効になります。

2.4.18 シナリオの同時実行について

シナリオの同時実行について説明します。

○となっている項目も、対象のリソースが同じである場合は実行不可です。(作成中の VLAN の削除など)

○：同時実行可能 ×：同時実行不可 -：機能上、論理的にありえない組合せ

後行→ ↓先行	テナント NW 作成	テナント NW 削除	VLAN 作成	VLAN 削除	SSL 設定	SSL 削除
テナント NW 作成	-	-	×	-	×	-
テナント NW 削除	-	-	×	×	×	×
VLAN 作成	-	×	○	○	○	○
VLAN 削除	-	×	○	○	○	○
SSL 設定	-	×	○	○	○	○
SSL 削除	-	×	○	○	○	○
テナント FW 作成	-	×	○	○	○	○
テナント FW 更新	-	×	○	○	○	○
テナント FW 削除	-	×	○	○	○	○
テナント LB 作成	-	×	○	○	○	○
テナント LB 更新	-	×	○	○	○	○
テナント LB 削除	-	×	○	○	○	○

後行→ ↓先行	テナント FW 作成	テナント FW 更新	テナント FW 削除	テナント LB 作成	テナント LB 更新	テナント LB 削除
テナント NW 作成	×	-	-	×	-	-

後行→ ↓先行	テナント FW 作成	テナント FW 更新	テナント FW 削除	テナント LB 作成	テナント LB 更新	テナント LB 削除
テナント NW 削除	×	×	×	×	×	×
VLAN 作成	○	○	○	○	○	○
VLAN 削除	○	○	○	○	○	○
SSL 作成	○	○	○	○	○	○
SSL 削除	○	○	○	○	○	○
テナント FW 作成	○	○	○	○	○	○
テナント FW 更新	○	○	○	○	○	○
テナント FW 削除	○	○	○	○	○	○
テナント LB 作成	○	○	○	○	○	○
テナント LB 更新	○	○	○	○	○	○
テナント LB 削除	○	○	○	○	○	○

注

先行シナリオに対し複数シナリオが待ち合わせをしている場合、先行シナリオ終了により後行シナリオが実行されますが、この際のシナリオの実行順序は保証されません。

このため、厳密なシナリオの実行順序が守られる必要がある場合は、先行シナリオが正常終了したことを確認した上で、次のシナリオを実行する必要があります。

付録 A. 改版履歴

- 第 1 版 (2017.9): 新規作成

付録 B. ライセンス情報

本製品には、一部、オープンソースソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンス条件の詳細につきましては、以下に同梱されているファイルを参照してください。また、LGPL に基づきソースコードを開示しています。当該オープンソースソフトウェアの複製、改変、頒布を希望される方は、お問い合わせください。

<インストール DVD>:\oss_license

- PXE Software Copyright (C) 1997 - 2000 Intel Corporation.
- 本製品には、Oracle Corporation が無償で配布している JRE (Java Runtime Environment) を含んでいます。使用許諾に同意したうえで利用してください。著作権、所有権の詳細につきましては、以下の LICENSE ファイルを参照してください。

<JRE をインストールしたフォルダ>:\LICENSE

- Some icons used in this program are based on Silk Icons released by Mark James under a Creative Commons Attribution 2.5 License. Visit <http://www.famfamfam.com/lab/icons/silk/> for more details.
- This product includes software developed by Routrek Networks, Inc.

WebSAM Network Automation v4.0
API リファレンス

2017 年 9 月 第 1 版 発行

日本電気株式会社

©NEC Corporation 2017